

平成25年

鹿児島県の観光の動向

～鹿児島県観光統計～

10月10日に



子供が生まれたぶ～



まなぶー



あそぶー



らぶぶー



かごぶー



すなぶー



ゆゆぶー



ほしぶー

平成26年10月



鹿児島県観光交流局観光課

目 次

「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の見方	P 3
---------------------------	-----

■ 平成 25 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(概要)

1 延べ宿泊者数・延べ日帰り客数	P 1 0
2 外国人延べ宿泊者数	P 1 0
3 観光消費額	P 1 1

■ 平成 25 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(詳細)

1 宿泊者数	
(1) 月別延べ宿泊者数	P 1 4
(2) 発地別県外延べ宿泊者数	P 1 5
(3) 交通機関別県外延べ宿泊者数	P 1 6
(4) 外国人延べ宿泊者数	P 1 7
2 日帰り客数	
(1) 四半期別延べ日帰り客数	P 1 9
3 観光消費額	
(1) 四半期別観光消費額	P 2 0
4 地区別の動向	
(1) 地区別延べ宿泊者数	P 2 1
(2) 地区別延べ日帰り客数	P 3 1
(3) 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数	P 3 2
(4) 地区別外国人延べ宿泊者数	P 3 3

■ 参考資料

1 全国における宿泊者の動向	
(1) 月別延べ宿泊者数(平成 25 年)	P 3 6
(2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成 25 年)	P 3 6
(3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成 25 年)	P 3 6
2 九州における宿泊者の動向	
(1) 九州各県別延べ宿泊者数	P 3 7
(2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数	P 3 8
3 鹿児島県観光動向調査	
(1) 地域別延べ宿泊客数	P 3 9
(2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数	P 4 0
(3) 旅行形態別延べ宿泊客数	P 4 1
(4) 月別旅行形態の動向	P 4 2
4 教育旅行の受入状況	
(1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況(推移)	P 4 3
(2) 月別の教育旅行の受入状況(平成 24 年～25 年)	P 4 3
(3) 県内地区別の教育旅行の受入状況(平成 24 年～25 年)	P 4 4
(4) 学校種別の構成比(平成 25 年)	P 4 4
5 スポーツ合宿の受入状況	
(1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況(推移)	P 4 5
(2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況(平成 24 年度～25 年度)	P 4 5

(3) 団体区分（カテゴリー）の状況	P 4 6
(4) 発地別の状況	P 4 6
(5) 交通手段の状況	P 4 7
(6) 競技種目の状況	P 4 7
6 コンベンションの開催状況	P 4 8
7 国際観光船受入状況	
(1) 全国におけるクルーズ船の寄港状況	P 4 9
(2) 鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況	P 5 0

鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～の見方

この「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」は、平成25年（1月～12月）1年間の宿泊者（延べ宿泊者数）、日帰り客（延べ日帰り客数）及び外国人宿泊者（外国人延べ宿泊者数）の動向等について、「宿泊旅行統計」（観光庁）※注1、「観光入込客統計」（観光庁）※注2、「鹿児島県観光動向調査」（鹿児島県）※注3の統計結果や、県内各市町村、関係機関等の御協力を得て実施した観光地点入込状況、交通機関利用状況等の調査をとりまとめたものである。

※ 注1「宿泊旅行統計」（観光庁）

（1）調査の目的

宿泊旅行統計調査は、我が国の宿泊旅行の実態を全国規模で把握することを目的とする。

（2）調査の対象

日本国内において宿泊業を営む、ホテル、旅館、簡易宿所、会社、団体の宿泊所などの全宿泊施設である。

なお、事業所母集団データベース（総務省）をもとに観光庁で補正を加えた母集団名簿により調査を行った。

【鹿児島県内の対象施設数】※平成25年12月時点

鹿児島県内の対象施設数	1,214施設
従業員数10人以上の宿泊施設数	234施設
従業員数9人以下の宿泊施設数	980施設

（3）調査の時期

四半期毎

（4）抽出方法

調査対象施設の抽出については以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所：全数調査
- 従業者数5人～9人の事業所：1/3を無作為に抽出するサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所：1/9を無作為に抽出するサンプル調査

（5）主な調査事項

- 各月の延べ・実宿泊者数及び外国人延べ・実宿泊者数
- 各月の延べ宿泊者数の居住地別内訳（県内、県外の別）
- 各月の外国人延べ宿泊者数の国籍別内訳

（6）調査の方法

調査は、観光庁から調査対象施設へ調査票を配布し、報告者（調査対象施設）が自ら調査票に記入し返送する方法で実施した。

また、調査の実施、審査・集計等については民間に委託して実施した。

(7) 結果の推定方法

調査の未回収分については、調査結果に施設所在地（47 区分）×従業者数（5 区分）の層ごとに母集団施設数に対する回収施設の逆数（母集団施設／回収施設数）を乗じて合算した。

なお、平成 24 年の調査を通じて 1 年間、標本の総和が 1,000 人泊（人）以上になる結果表セルにおいて 50%以上のシェアを占める標本については、別途層を設け、乗率 $Nh/nh=1$ とした。

以上より、統計の推定値は次の式で表される。

$$G = \sum_h \frac{N_h}{n_h} \sum_i X_{hi}$$

G : 総計（延べ宿泊者数等）の推定値

X_{hi} : 第 h 層の第 i 番目の施設の調査結果（延べ宿泊者数等）

n_h : 第 h 層の標本（回収）施設数

N_h : 第 h 層の母集団施設数

また、四半期毎（1 月～3 月調査、4 月～6 月調査、7 月～9 月調査、10 月～12 月調査）の調査結果を、平成 26 年 1 月 1 日時点で把握した平成 25 年中の調査対象施設の開業、廃業等施設数を反映させ、各月毎の調査対象施設数により、遡及して推計し直した。

(8) 用語の解説

「宿泊施設」

旅館業法に基づく営業許可を得ているホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの施設をいう。

「従業者数」

従業者とは、当該宿泊施設で働いているすべての人をいう（実人員数）。派遣労働者、在籍出向など出向元に籍がありながら当該施設に来て働いている人、下請けとして他の会社など別経営の事業所から来て働いている人を含む。なお、宿泊施設以外の施設（遊園地、ゴルフ場、スキー場、プール等）を併設している場合で、会計上も宿泊施設営業と他の事業に分けている場合は宿泊施設営業に従事している人のみとした。

「延べ宿泊者数」

延べ宿泊者数とは、各月における宿泊者（寝具を使用して施設を利用するもの。子供や乳児を含む。）の延べ人数をいう。

「外国人延べ宿泊者数」

外国人延べ宿泊者数とは、各月における外国人（日本国内に住所を有しないもの）の宿泊者の延べ人数をいう。ただし、日本国内の住所の有無による回答が困難な施設は、日本の国籍を有しないものを外国人宿泊者として回答しても差し支えないこととした。

※ 注 2 「観光入込客統計」（観光庁）

（1）調査の目的

観光庁では、地域間で観光に関する現状や動向を全国的に比較できるようにしつつ、観光振興に資するため、平成 21 年 12 月に観光入込客に関する統一的な把握のための「共通基準」を策定した。

本県では、平成 22 年 4 月から当該基準を導入した調査を実施し、結果を観光庁に報告している。

（2）調査の時期

四半期毎

（3）調査体系

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

①観光地点等入込客数調査（全数調査）

県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査する。

②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査する。

③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

（4）集計・公表する項目

- 観光地点を訪れた観光入込客数
- 観光地点を訪れた観光入込客一人当たりの平均消費額
- 観光地点を訪れた観光入込客の総消費額

（5）用語の解説

「観光地点」

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設等を意味し、次に掲げる要件を全て満たすものを集計の対象としている。

- ① 非日常利用が多い（月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点
- ② 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③ 前年の観光入込客数が年間 1 万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が 5 千人以上であること。

「観光入込客」

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者。本基準では観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客としている。

※ 注3「鹿児島県観光動向調査」（鹿児島県）

（1）調査の目的

本県では最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、一般の各観光関係者のビジネスや効果的な事業展開等広く民間の活用に資するため、平成19年4月から県内の主要宿泊施設、観光施設等を対象として、宿泊の入込状況についてアンケート調査を実施している。

（2）調査の時期

毎月

（3）調査の対象

- ① ホテル・旅館 87施設
 - ② 観光施設 18施設
 - ③ ドライブイン 5施設
- ※平成25年12月時点

（4）調査方法及び留意事項

毎月、対象施設に調査票を送付し、調査結果を取りまとめている。
調査対象施設については、新たに建設されたものなどを追加している。

（5）主な調査事項

〈宿泊施設〉

- 延べ宿泊客数（全宿泊客数、外国人宿泊客数）
- 宿泊形態（団体、個人旅行の別）
- 発地別宿泊客数 等

〈観光施設・ドライブイン〉

- 入場者、来場者数 等

（6）「発地別県外延べ宿泊者数」の発地区分内訳

地区	該当都道府県等			
北海道	北海道			
東北	青森 秋田	岩手 山形	宮城	福島
関東	茨城 千葉	栃木 東京	群馬 神奈川	埼玉 山梨
北陸	新潟	福井	富山	石川
中部	静岡	愛知	岐阜	長野
関西	滋賀 兵庫	京都 三重	大阪 和歌山	奈良
中国	鳥取 山口	島根	岡山	広島
四国	徳島	香川	愛媛	高知
九州	福岡 大分	佐賀 宮崎	長崎	熊本
沖縄	沖縄			
国外	日本以外の全ての国			

1 地区別延べ宿泊者数の推定の方法

地区別の宿泊者数については、県が観光庁から宿泊旅行統計調査の調査票情報（鹿児島県内の宿泊施設分）の提供を受け、施設所在地区別に推定を行った。

「地区別延べ宿泊者数」等の施設所在地区別の内訳

地区名	該当市町村			
鹿児島地区	鹿児島市			
指宿地区	指宿市			
霧島地区	霧島市			
北薩地区	阿久根市 長島町	薩摩川内市	出水市	さつま町
大隅地区	鹿屋市 大崎町 肝付町	垂水市 東串良町	曾於市 錦江町	志布志市 南大隅町
種子島地区	西之表市	中種子町	南種子町	
屋久島地区	屋久島町			
奄美地区	奄美市 龍郷町 伊仙町	大和村 喜界町 和泊町	宇検村 徳之島町 知名町	瀬戸内町 天城町 与論町
その他地区	枕崎市 南九州市 三島村	日置市 伊佐市 十島村	いちき串木野市 姶良市	南さつま市 湧水町

2 地区別延べ日帰り客数の推定の方法

地区別の日帰り客数については、県が観光庁に報告する調査票情報を用いて施設所在地区別に推定を行った。

※施設所在地区別の内訳については上表と同じ

3 日帰り客の延べ人数の推定の方法

日帰り客数について観光庁は、観光地点を訪れた観光入込客数（延べ人数）を平均訪問地点数で割った、観光入込客数（実人数）で公表しているが、本統計においては、平均訪問地点数で割る前の延べ人数を用いた。

※「延べ人数」と「実人数」の違い

「実人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回分と数えることとなる。

「延べ人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の3つの観光地点を訪れたとしたら、3回分と数えることとなる。

4 発地別県外延べ宿泊者数について

発地別県外延べ宿泊者数については、「鹿児島県観光動向調査」のデータを用いた。

5 交通機関別県外延べ宿泊者数について

観光庁「宿泊旅行統計」の県外延べ宿泊者数をベースとして、鉄道、バス、航空、船舶事業者及び高速道路事業者の協力により得られたデータをもとに、県が交通機関別に推定を行った。

平成 25 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(概要)

平成25年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の概要

- ・「延べ宿泊者数」は7,323千人で、前年比**6.6%の増加**
- ・「延べ日帰り客数」は13,183千人で、前年比**1.2%の減少**
- ・「延べ宿泊者数」と「延べ日帰り客数」の合計は20,506千人で、前年比**1.4%の増加**
- ・「外国人延べ宿泊者数」は214,810人で、前年比**25.9%の増加**
- ・「観光消費額」は2,460億円で、前年比**2.7%の減少**

1 延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】・延べ日帰り客数【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 平成25年の鹿児島県内の宿泊施設の延べ宿泊者数は7,322,530人で、前年比6.6%の増加となった。これは九州新幹線全線開業効果は開業3年目に入り、落ち着いてきたものの、依然高い水準を維持していることに加え、平成24年以降の鹿児島—台北線の就航や相次ぐLCC（Low Cost Carrier, 格安航空会社）の就航などの交通アクセスの向上等が考えられる。

■ 平成25年の鹿児島県内の観光地点における観光目的の日帰り客数は13,183,000人で、前年比1.2%の減少となった。これは、前年の九州新幹線の全線開業効果の反動に加え、伊勢神宮の式年遷宮や東京ディズニーランド開園30周年イベントなど、他都道府県での大規模な周年行事の開催により県外日帰り客が減少したことなどが考えられる。

	平成25年		平成24年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数 (1～12月分)	7,322,530		6,870,930		6.6%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	5,145,650	2,061,060	4,753,990	1,990,650	8.2%	3.5%
延べ日帰り客数 (1～12月分)	13,183,000		13,346,000		▲ 1.2%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	1,821,000	11,362,000	3,342,000	10,004,000	▲ 45.5%	13.6
合計	20,505,530		20,216,930		1.4	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	6,966,650	13,423,060	8,095,990	11,994,650	▲ 13.9%	11.9

※居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

2 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

■ 平成25年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は214,810人であり、前年比25.9%の増加となった。

これは、平成24年3月の鹿児島—台北線の就航以降、台湾からの観光客が増加したことなどの要因が考えられる。

外国人延べ宿泊者数	前年比 (増減率)
214,810	25.9%

※ 全宿泊施設が調査対象

国籍別外国人延べ宿泊者数 (構成比)	前年比 (増減率)
韓国	44,910 (24.1%) ▲ 1.0%
台湾	75,470 (40.4%) 66.8%
中国	11,880 (6.4%) 9.8%
香港	11,810 (6.3%) 19.1%
米国	8,760 (4.7%) 42.0%
シンガポール	4,750 (2.6%) 47.1%
タイ	2,130 (1.1%) 117.3%
その他	26,890 (14.4%) 64.1%
合計 (平成24年)	186,600 (138,120)
	35.1%

※ 従業者数10人以上の施設が調査対象

※ その他には国籍(出身地)不詳を含む

3 観光消費額【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 観光目的の観光入込客の観光消費額は246,043百万円で、2.7%の減少となった。

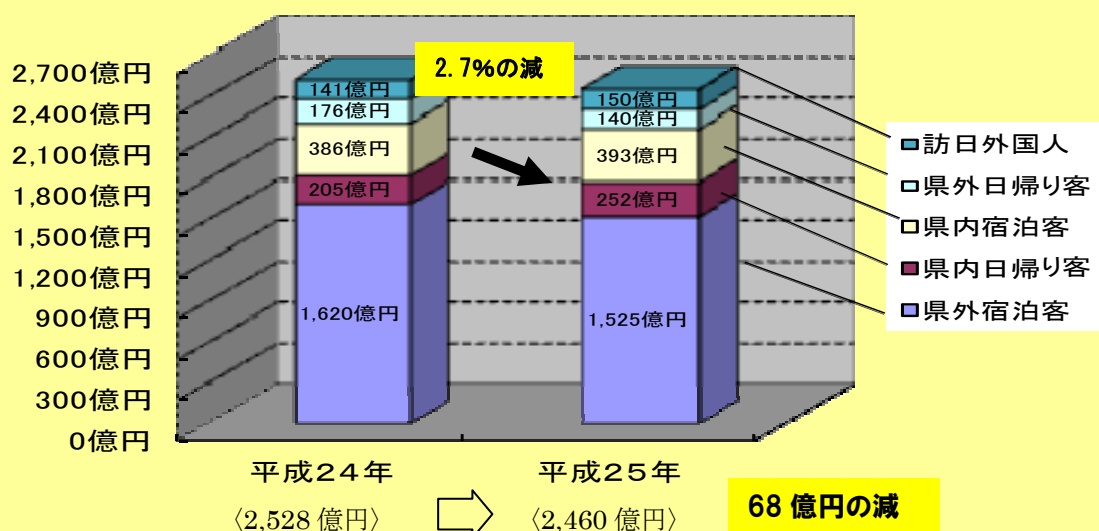
(百万円)						前年比(増減率)	
		平成25年		平成24年			
日本人	宿泊	191,796		200,560		▲ 4.4%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		152,513	39,283	161,971	38,589	▲ 5.8%	1.8%
	日帰り	39,223		38,130		2.9	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		14,057	25,166	17,575	20,555	▲ 20.0%	22.4%
訪日外国人		15,024		14,112		6.5%	
合計		246,043		252,802		▲ 2.7%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		181,594	64,449	193,658	59,144	▲ 6.2%	9.0%

【参考 観光消費額単価】					(円)	
		平成25年		平成24年		
日本人	宿泊	32,453		37,607		
		県外	県内	県外	県内	
		38,827	19,820	44,546	22,740	
	日帰り	3,733		3,473		
		県外	県内	県外	県内	
		8,836	2,821	5,697	2,604	
訪日外国人		91,055		91,045		

※今回から観光消費額の算出方法を変更した。

- ① 従来の観光消費額（観光目的）に、「ビジネス目的」、「訪日外国人」の消費額を加えて算出した。
- ② 同じ算出方法による平成22年からの消費額の推移については、12ページに掲載。

■ 観光消費額の前年との比較



○ 参考

1 延べ宿泊者数

		平成22年 ※1		平成23年 前年比(増減率)		平成24年 前年比(増減率)		平成25年 前年比(増減率)	
延べ宿泊者数		6,105,360		6,795,810		6,870,930		7,322,530	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内
		4,209,690	1,779,890	4,747,660	1,990,550	4,753,990	1,990,650	5,145,650	2,061,060
延べ日帰り客数		10,718,000		13,691,000		13,346,000		13,183,000	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内
		2,521,000	8,197,000	2,754,000	10,937,000	3,342,000	10,004,000	1,821,000	11,362,000
合計		16,823,360		20,486,810		20,216,930		20,505,530	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内
		6,730,690	9,976,890	7,501,660	12,927,550	8,095,990	11,994,650	6,966,650	13,423,060

(注)居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

※1 平成22年の数値について

①延べ宿泊者数

1～3月については、従業員数9人以下の宿泊施設の宿泊者数を含まない(観光庁「宿泊旅行統計」では、平成22年4月以降の調査から、従業員数9人以下の宿泊施設を対象に加えており、平成22年1～3月は数値がないため)。

②延べ日帰り客数

4～12月の数値(観光庁「観光入込客統計」は平成22年4月からの開始であり、平成22年3月以前の数値がないため)

※2 平成22年と平成23年の比較について

平成22年と条件を揃えて比較した。… 延べ宿泊客数: 6,446,120人(1～3月において、従業員9人以下の宿泊施設の宿泊者数を含まない)

… 延べ日帰り客数: 11,019,000人(4～12月の数値)

2 外国人延べ宿泊者数

							(人)
	平成22年 ※	平成23年		平成24年		平成25年	
			前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)
外国人延べ宿泊者数	129,100	92,890	▲ 28.0%	170,570	83.6%	214,810	25.9%

(注)全宿泊施設が対象。

※ 平成22年については、1～3月における従業員数9人以下の宿泊施設の宿泊者数を含まない(観光庁「宿泊旅行統計」では、平成22年4月以降の調査から、従業員数9人以下の宿泊施設を対象に加えており、平成22年1～3月は数値がないため)。

〈国籍別外国人延べ宿泊者数〉

		平成22年	平成23年		平成24年		平成25年	
				前年比(増減率)		前年比(増減率)	前年比(増減率)	
国籍別	韓 国	60,620	35,520	▲ 41.4%	45,370	27.7%	44,910	▲ 1.0%
	台 湾	21,670	14,630	▲ 32.5%	45,240	209.2%	75,470	66.8%
	中 国	8,220	6,890	▲ 16.2%	10,820	57.0%	11,880	9.8%
	香 港	4,930	4,900	▲ 0.6%	9,920	102.4%	11,810	19.1%
	米 国	7,360	4,070	▲ 44.7%	6,170	51.6%	8,760	42.0%
	シンガポール	2,860	1,750	▲ 38.8%	3,230	84.6%	4,750	47.1%
	タ イ	470	690	46.8%	980	42.0%	2,130	117.3%
	その他	19,870	16,830	▲ 15.3%	16,390	▲ 2.6%	26,890	64.1%
合 計		126,000	85,280	▲ 32.3%	138,120	62.0%	186,600	35.1%

※従業員数10人以上の施設が調査対象

※その他には国籍(出身地)不詳を含む

3 観光消費額

(百万円)

		平成22年 ※1		平成23年 前年比(増減率)		平成24年 前年比(増減率)		平成25年 前年比(増減率)					
日本人	宿泊	98,990		178,336		200,560		191,796		▲ 4.4%			
		県外	県内	県外	県内	80.2%	県外	県内	12.5%		県外	県内	
		85,887	13,103	155,440	22,896	※2	161,971	38,589	152,513		39,283		
	日帰り	37,083		45,086		38,130		39,223		2.9%			
		県外	県内	県外	県内	21.6%	県外	県内	▲ 15.4%		県外	県内	
		13,287	23,796	19,680	25,406	※2	17,575	20,555	14,057		25,166		
訪日外国人		6,693		4,681		14,112		201.5%		15,024		6.5%	
合計		142,766		228,103		252,802		246,043		▲ 2.7%			
		県外	県内	県外	県内	59.8%	県外	県内	10.8%			県外	県内
		105,867	36,899	179,801	48,302	※2	193,658	59,144	181,594			64,449	

※1 平成22年の数値について

平成22年4～12月の数値(観光庁「観光入込客統計」は平成22年4月から開始されており、平成22年3月以前の数値はないため)。

※2 平成22年と平成23年の比較について

平成22年度の数値と平成23年の数値を比較(観光庁「観光入込客統計」は平成22年4月から開始されており、平成22年3月以前の数値はないため)。

平成 25 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(詳細)

1 宿泊者数

(1) 月別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

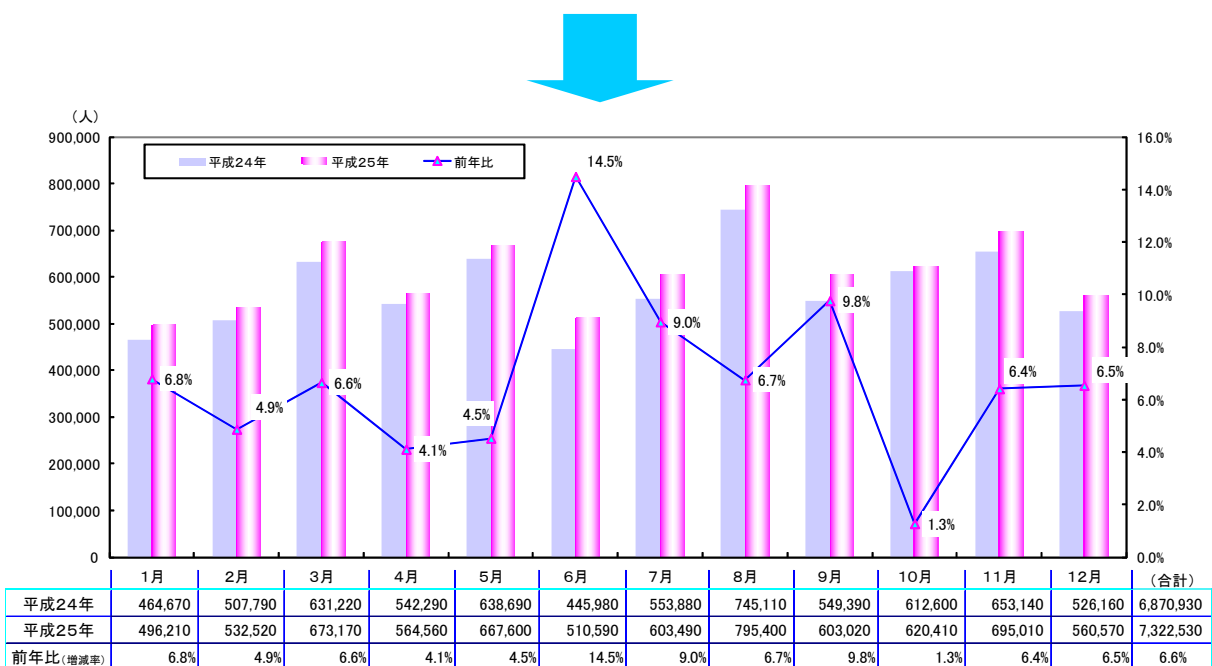
月別延べ宿泊者数は、全ての月で前年を上回り、年間を通しては前年比 6.6%の増加となった。

これは九州新幹線全線開業効果は開業 3 年目に入り、落ち着いてきたものの、依然高い水準を維持していることや平成 24 年以降の鹿児島—台北線の就航や相次ぐ LCC（Low Cost Carrier, 格安航空会社）の就航など交通アクセスの向上等が考えられる。

	平成25年			平成24年		
	県外	県内	合計	県外	県内	合計
1月	329,560	154,610	496,210	312,520	144,820	464,670
2月	368,600	154,420	532,520	356,960	142,050	507,790
3月	470,010	190,140	673,170	461,750	159,340	631,220
4月	407,050	144,090	564,560	383,310	150,280	542,290
5月	475,140	175,770	667,600	449,960	179,140	638,690
6月	352,710	144,350	510,590	304,540	133,660	445,980
7月	420,950	176,190	603,490	373,780	168,690	553,880
8月	562,450	224,970	795,400	519,410	212,920	745,110
9月	433,760	162,250	603,020	383,910	153,330	549,390
10月	443,740	170,800	620,410	428,290	172,070	612,600
11月	498,630	190,760	695,010	446,640	189,930	653,140
12月	383,070	172,730	560,570	332,940	184,410	526,160
合計	5,145,650	2,061,060	7,322,530	4,753,990	1,990,650	6,870,930
前年比(増減率)	8.2%	3.5%	6.6%			

※延べ宿泊者数は四捨五入をしているため、各月の合計値と総数とは一致しない場合がある。

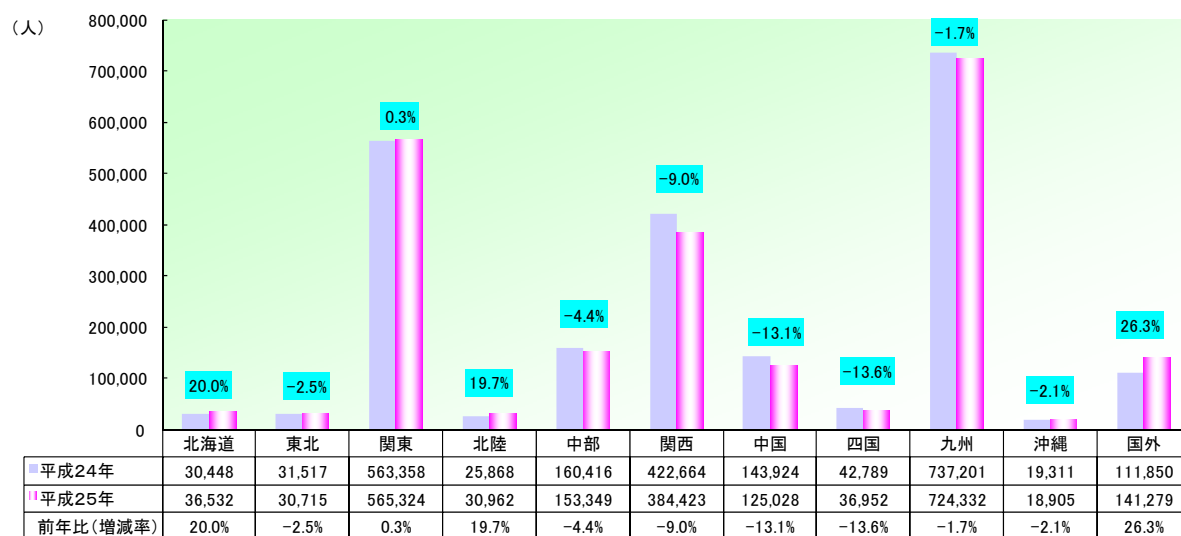
※合計は居住地不詳を含むため、県外・県内の合算値とは一致しない。



1 宿泊者数

(2) 発地別県外延べ宿泊者数 【出典：「鹿児島県観光動向調査」】

県外からの宿泊者を発地別で前年と比較すると、鹿児島ー台北線の就航により台湾からの観光客が増加したこと等から、国外からの宿泊客が増加した（26.3%増）。また、発地別構成比をみると、九州地区（32.2%）、関東地区（25.2%）、関西地区（17.1%）の順となっており、この3地区で全体の7割以上（74.5%）を占めている。

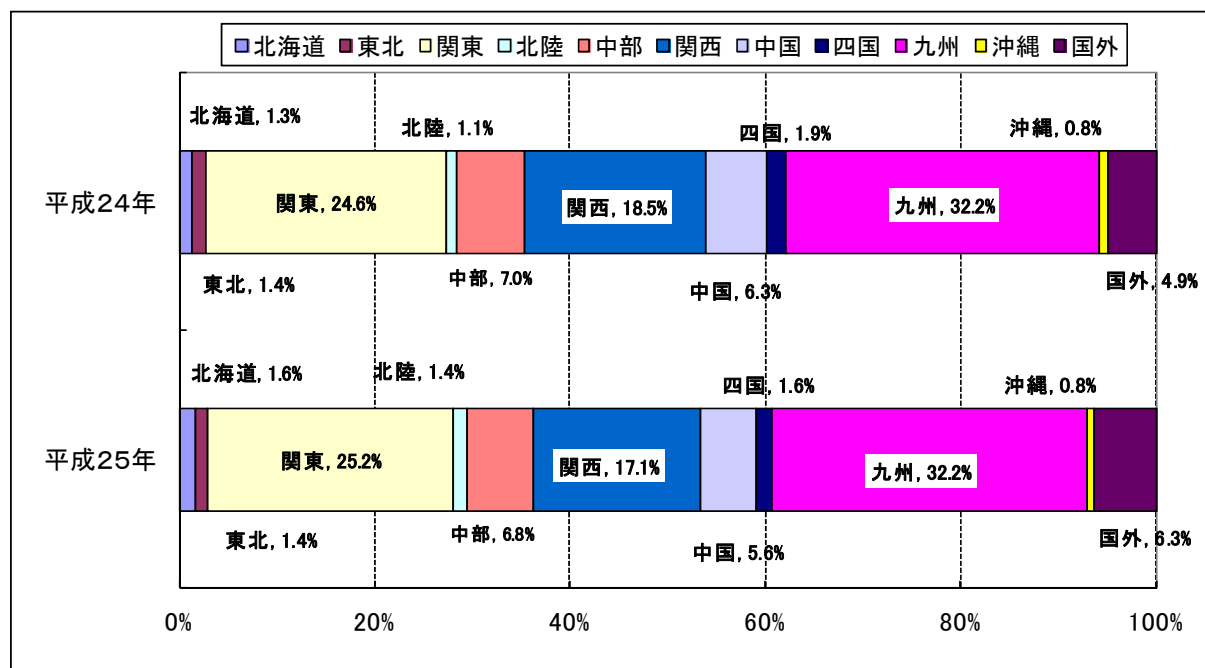


※県内主要宿泊施設が調査対象

※九州は鹿児島県を除く6県の合計

※平成24年の数値は、平成25年のサンプル施設数とベースを合わせているため、「平成24年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

■ 発地別県外延べ宿泊者数の構成比

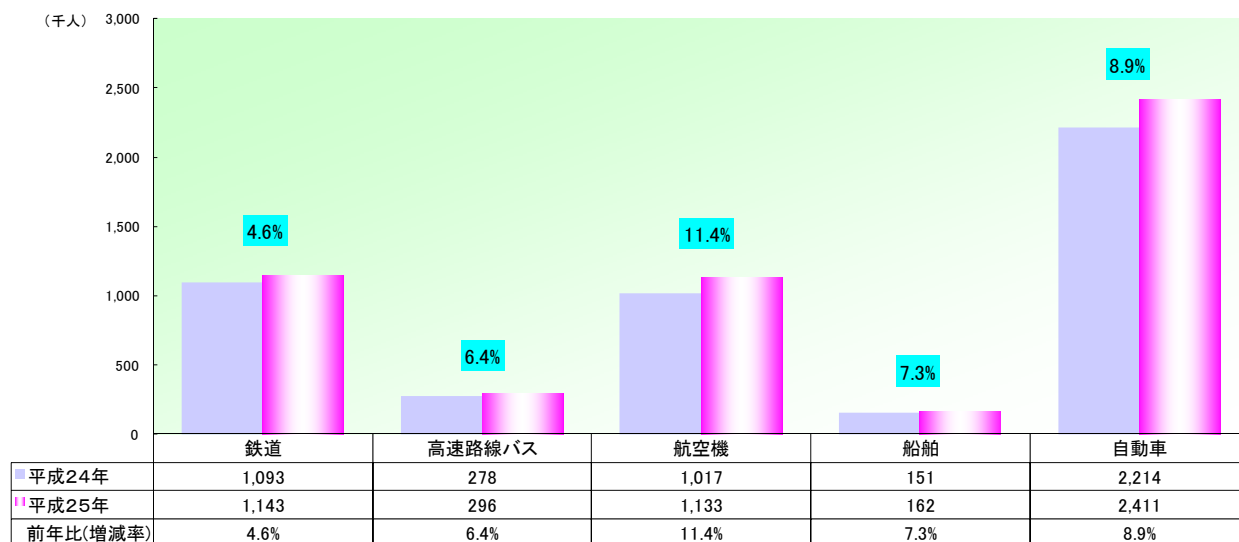


1 宿泊者数

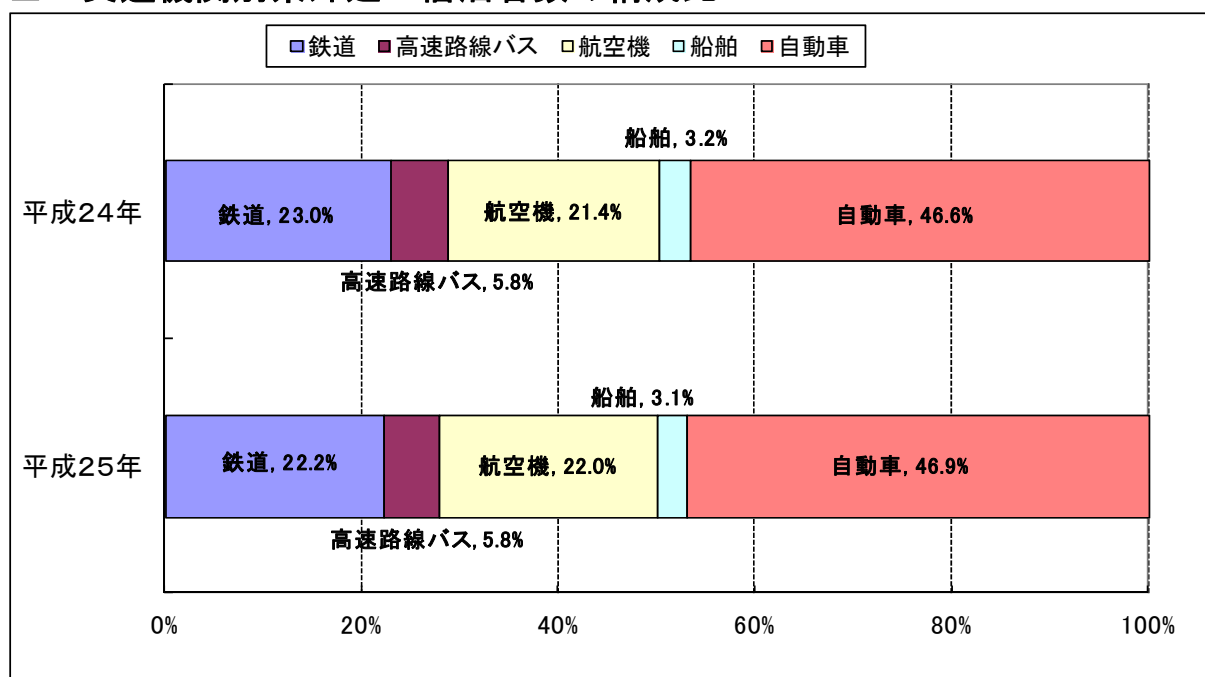
(3) 交通機関別県外延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」及び県独自調査】

航空機を利用した宿泊客数が前年比 11.4%の増加となり、全交通機関中最も高い伸びとなった。これは国際定期便を利用した海外からの観光客の増加や LCC（Low Cost Carrier, 格安航空会社）の就航などの影響が考えられる。

また、交通機関別構成比で見ると、自動車によるものが 46.9%と全体の約 5 割を占め、鉄道が 22.2%，航空機が 22.0%の順となっている。



交通機関別県外延べ宿泊者数の構成比



1 宿泊者数

(4) 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

平成 25 年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は、前年を上回り前年比 25.9%増となった。平成 24 年 3 月の鹿児島ー台北線就航以降、台湾からの観光客が増加したことなどの要因が考えられる。

国籍別の構成比では、台湾からの宿泊者が 40.4%と最も多く、次いで韓国 24.1%、中国 6.4%の順となっている。

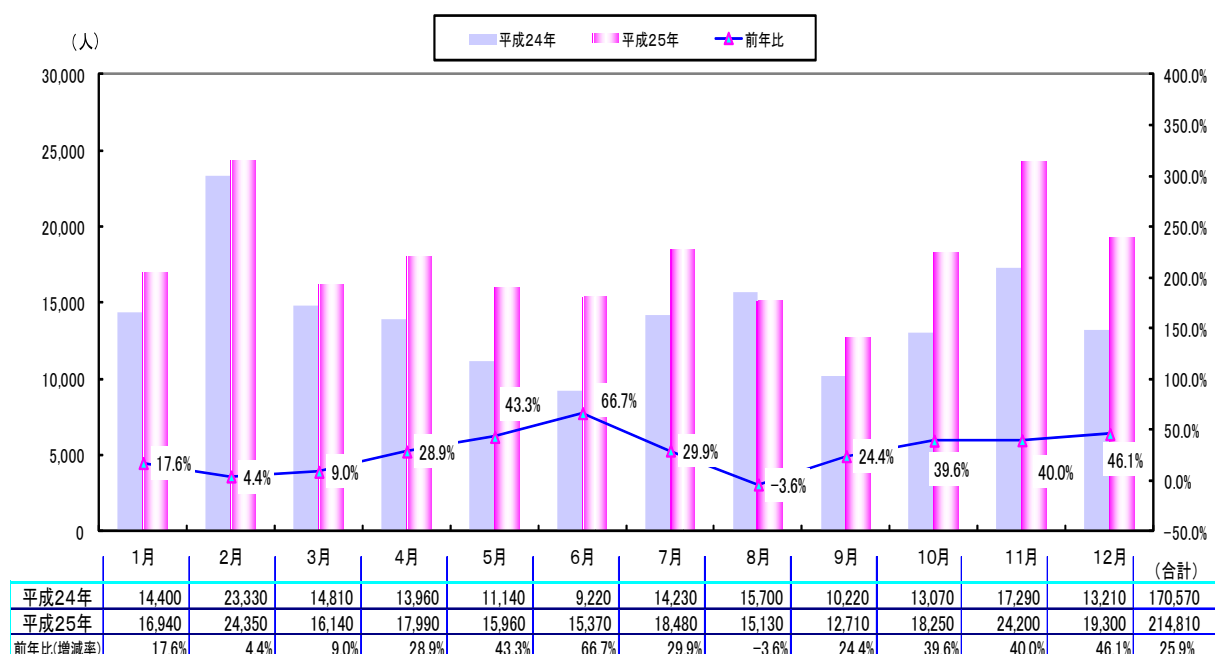
台湾については、前年比 66.8%増と大幅に増加した。平成 24 年 3 月の鹿児島ー台北線の就航以降、観光客が増加したためと考えられる。

韓国については、前年比 1.0%と減少した。鹿児島ーソウル線の一時デیلیー化やスポーツキャンプの増加等があったものの、日韓関係の冷え込み等による観光客の減少が考えられる。

中国については、前年比 9.8%の増加となった。鹿児島ー上海線の減便があったものの、年の後半から個人旅行や小グループ旅行が増加したためと考えられる。

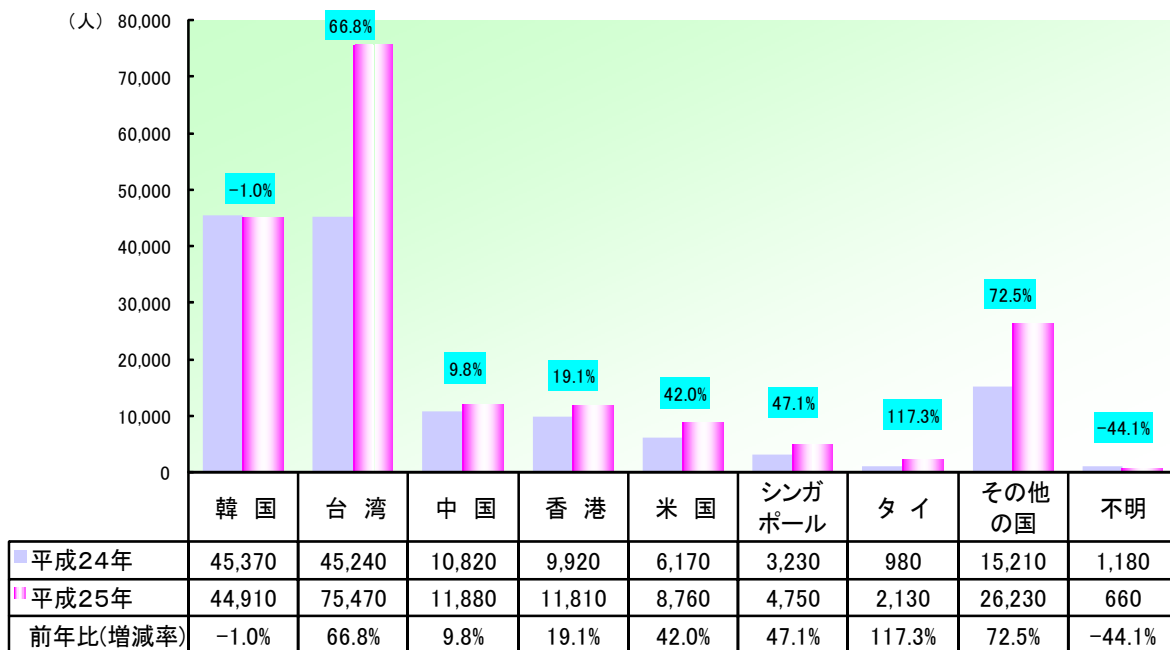
香港については、前年比 19.1%増となった。夏場の連続チャーターによる団体ツアーが堅調であったことや福岡ー香港線の機材が大型化したことなどが考えられる。

■ 月別外国人延べ宿泊者数



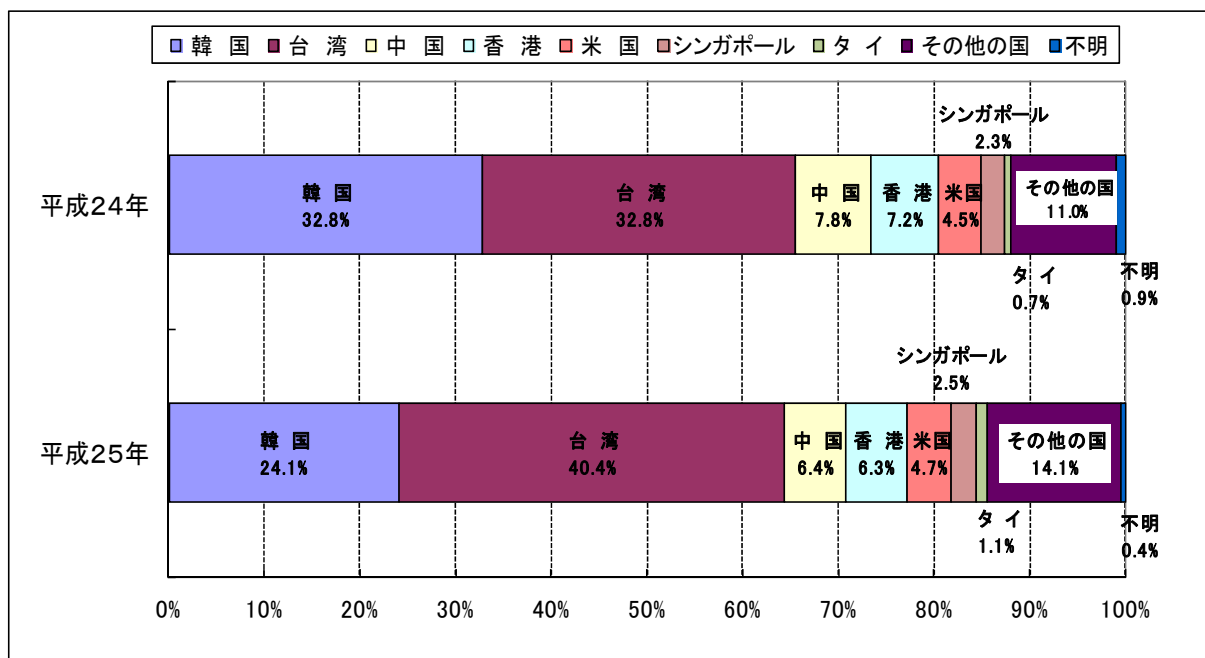
1 宿泊者数

■ 国籍別外国人延べ宿泊者数



※従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数

■ 国籍別外国人延べ宿泊者数の構成比



※従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数

2 日帰り客

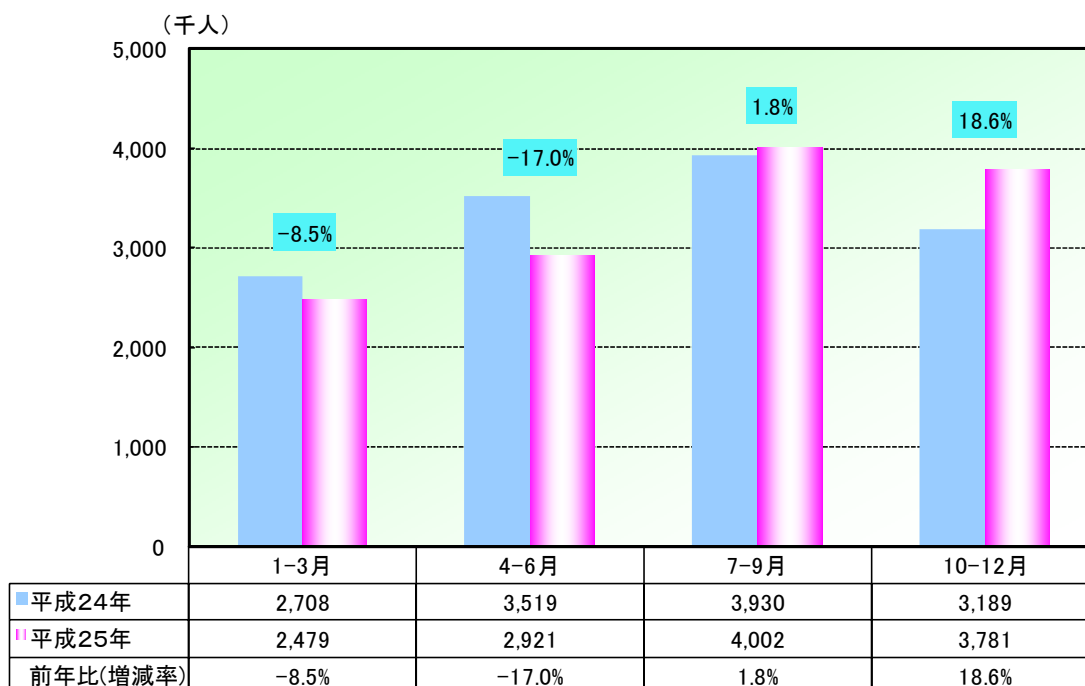
(1) 四半期別延べ日帰り客数【出典：観光庁「観光入込客統計」】

県内日帰り客は4-6月期を除き前年を上回った。また、県外日帰り客は年間を通じて前年を下回った。

県外日帰り客の減少については、前年の九州新幹線の全線開業効果の反動に加え、伊勢神宮の式年遷宮や東京ディズニーランド開園30周年イベントなど、他都道府県での大規模な周年行事の開催による影響などが考えられる。

延べ日帰り客数	平成25年			平成24年			前年比(増減率)		
	県外	県内	合計	県外	県内	合計	県外	県内	合計
1-3月期	332	2,147	2,479	575	2,133	2,708	-42.3%	0.7%	-8.5%
4-6月期	432	2,489	2,921	834	2,685	3,519	-48.2%	-7.3%	-17.0%
7-9月期	566	3,435	4,002	1,141	2,789	3,930	-50.4%	23.2%	1.8%
10-12月期	490	3,291	3,781	791	2,398	3,189	-38.1%	37.2%	18.6%
合計	1,821	11,362	13,183	3,341	10,004	13,346	-45.5%	13.6%	-1.2%

※端数処理の都合上、各表間で数値が一致しない場合がある。



3 観光消費額

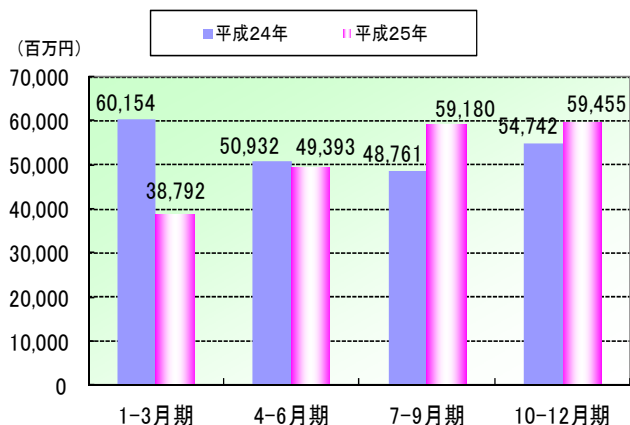
(1) 四半期別観光消費額【出典：観光庁「観光入込客統計」】

宿泊観光消費額については、単価が減少したことにより、前年比 3.6%減少となった。

一方、日帰り観光消費額については、単価が上がったことに伴い、前年比 2.6%の増加となったものの、全体としては前年比 2.7%の減少となった。

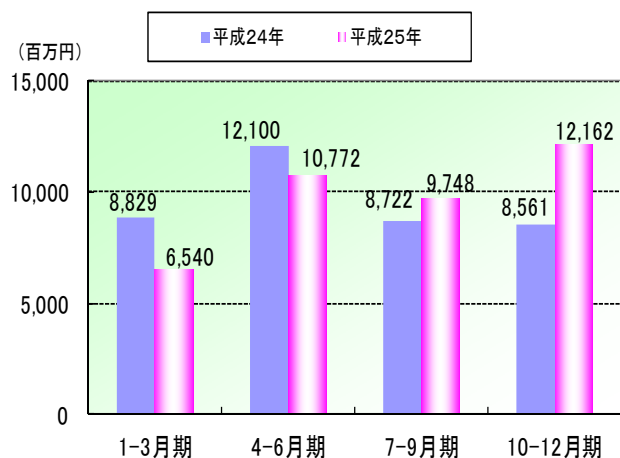
■ 四半期別観光消費額（宿泊）

(百万円)						
	平成25年		平成24年		前年比(増減率)	
1－3月期	38,792		60,154		-35.5%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	29,439	9,353	46,501	13,653	-36.7%	-31.5%
4－6月期	49,393		50,932		-3.0%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	39,899	9,494	44,630	6,302	-10.6%	50.7%
7－9月期	59,180		48,761		21.4%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	47,655	11,525	38,615	10,146	23.4%	13.6%
10－12月期	59,455		54,742		8.6%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	50,544	8,911	46,254	8,488	9.3%	5.0%
合計 (1－12月期)	206,820		214,589		-3.6%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	167,537	39,283	176,000	38,589	-4.8%	1.8%



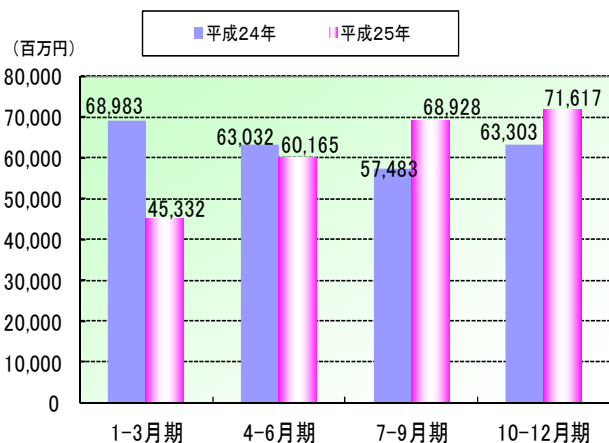
■ 四半期別観光消費額（日帰り）

(百万円)						
	平成25年		平成24年		前年比(増減率)	
1－3月期	6,540		8,829		-25.9%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	2,607	3,933	5,097	3,732	-48.9%	5.4%
4－6月期	10,772		12,100		-11.0%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	3,890	6,882	5,691	6,409	-31.6%	7.4%
7－9月期	9,748		8,722		11.8%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	2,939	6,809	2,954	5,768	-0.5%	18.0%
10－12月期	12,162		8,561		42.1%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	4,620	7,542	3,915	4,646	18.0%	62.3%
合計 (1－12月期)	39,222		38,212		2.6%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	14,056	25,166	17,657	20,555	-20.4%	22.4%



■ 四半期別観光消費額（宿泊＋日帰り）

(百万円)						
	平成25年		平成24年		前年比(増減率)	
1－3月期	45,332		68,983		-34.3%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	32,046	13,286	51,598	17,385	-37.9%	-23.6%
4－6月期	60,165		63,032		-4.5%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	43,789	16,376	50,321	12,711	-13.0%	28.8%
7－9月期	68,928		57,483		19.9%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	50,594	18,334	41,569	15,914	21.7%	15.2%
10－12月期	71,617		63,303		13.1%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	55,164	16,453	50,169	13,134	10.0%	25.3%
合計 (1－12月期)	246,043		252,802		-2.7%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	181,594	64,449	193,658	59,144	-6.2%	9.0%



※端数処理の都合上、各表間で数値が一致しない場合がある。

4 地区別の動向

(1) 地区別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

平成25年の延べ宿泊者数は、鹿児島地区、霧島地区、北薩地区、大隅地区、奄美地区、その他地区で前年を上回った。

また、地区別構成比は、鹿児島地区が37.4%と最も高く、次いで霧島地区が16.3%となっている。

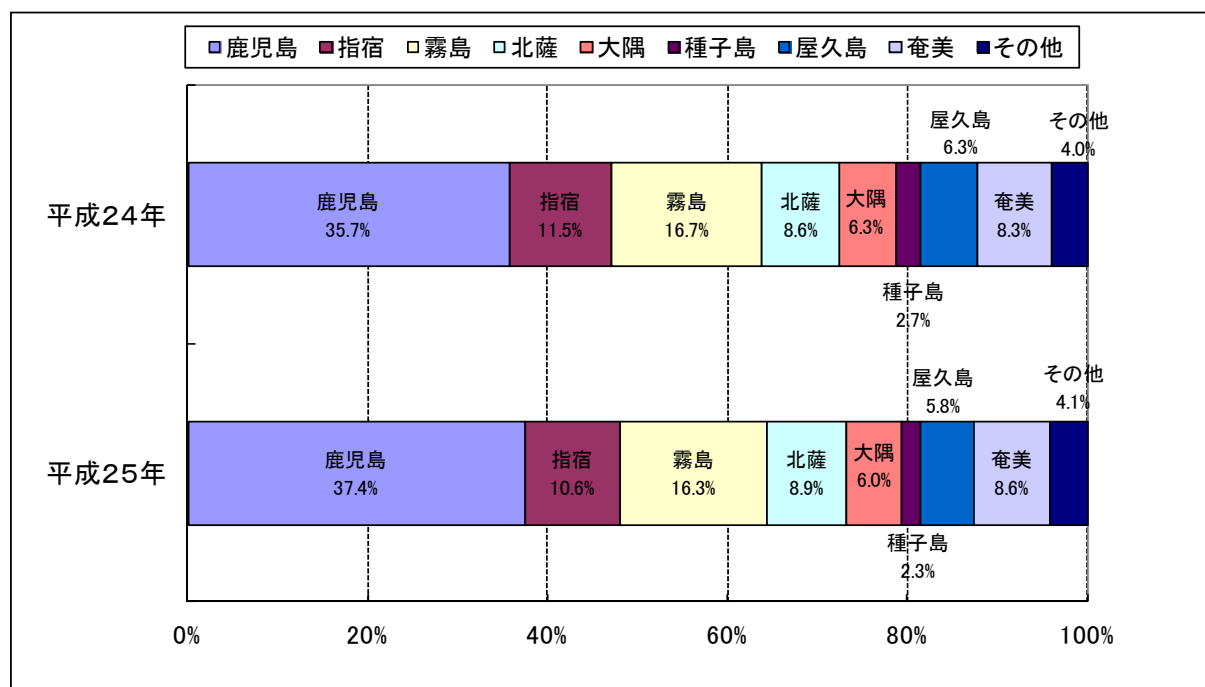
(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成25年	2,742,002	779,733	1,193,418	649,804	437,868
平成24年	2,451,924	787,849	1,147,195	594,131	430,369
前年比(増減率)	11.8%	-1.0%	4.0%	9.4%	1.7%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成25年	165,893	424,638	627,839	301,355	7,322,530
平成24年	188,946	430,271	566,865	273,370	6,870,930
前年比(増減率)	-12.2%	-1.3%	10.8%	10.2%	6.6%

※延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある（観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入しているため）。

■ 地区別延べ宿泊者数の構成比



4 地区別の動向

■ 鹿児島地区の延べ宿泊者数の動向

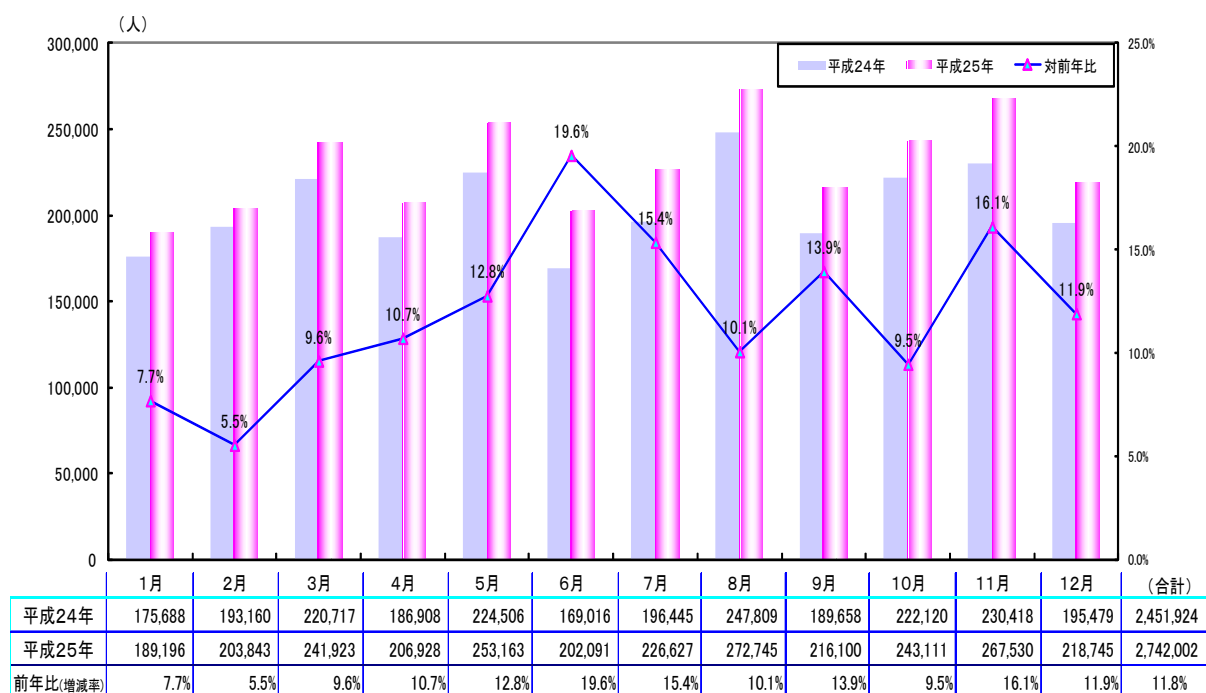
鹿児島地区の延べ宿泊者数は全ての月で前年を上回り、年間を通しては前年比11.8%増加と全地区中で最も高い伸びとなった。

これは、九州新幹線に加えて、相次ぐＬＣＣの就航などによる交通アクセスの向上や7月の国際火山会議の開催等のコンベンションの増加、集約列車の運行による教育旅行の増加などが考えられる。

		(人)															
鹿児島地区	平成25年	平成24年		前年比（増減率）													
延べ宿泊者数	2,742,002	2,451,924		11.8%													
1～12月分	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>1,986,760</td><td>711,865</td></tr></table>	県外	県内	1,986,760	711,865	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>1,767,941</td><td>638,919</td></tr></table>	県外	県内	1,767,941	638,919	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>12.4%</td><td>11.4%</td></tr></table>	県外	県内	12.4%	11.4%		
県外	県内																
1,986,760	711,865																
県外	県内																
1,767,941	638,919																
県外	県内																
12.4%	11.4%																

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【鹿児島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 指宿地区の延べ宿泊者数の動向

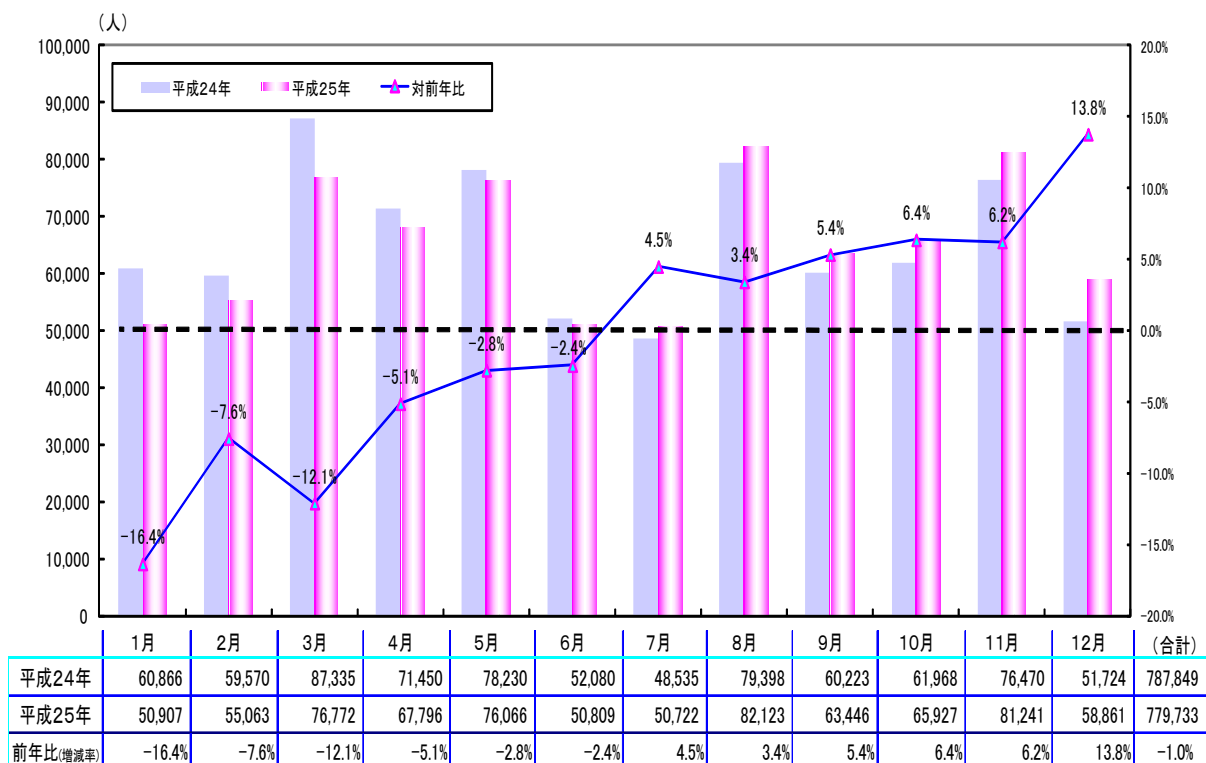
指宿地区の延べ宿泊者数は前年比 1.0%減少し、前年と比べ約 8 千人の減少となった。

これは、集約列車の運行による教育旅行の増加や台湾からの観光客の増加などがあったものの、1～4 月において、前年の九州新幹線全線開業効果による宿泊者数の増加の反動を受けたことなどから、年間を通じては前年比を下回る結果となったと考えられる。

(人)					
指宿地区	平成25年		平成24年		前年比（増減率）
延べ宿泊者数 1～12月分	779,733		787,849		-1.0%
	県外 638,416	県内 128,982	県外 665,389	県内 107,980	県外 -4.1% 県内 19.5%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【指宿地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 霧島地区の延べ宿泊者数の動向

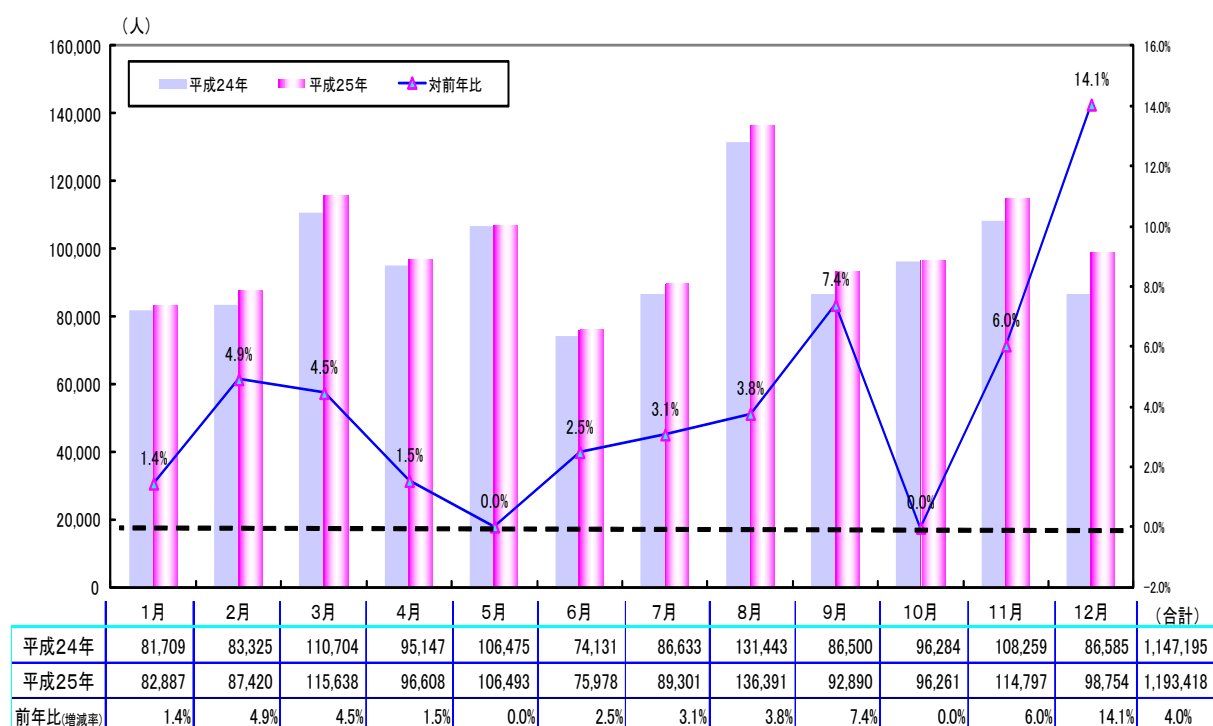
霧島地区の延べ宿泊者数は、概ね全ての月で前年を上回り、年間を通しては前年比4.0%増加し、前年と比べ約4万6千人の増加となった。

これは、平成24年3月の鹿児島ー台北線就航以降、台湾からの観光客が増加したことや集約列車の運行による教育旅行の増加などが考えられる。

(人)					
霧島地区	平成25年		平成24年		前年比(増減率)
延べ宿泊者数 1～12月分	1,193,418		1,147,195		4.0%
	県外	県内	県外	県内	県外 県内
	874,091	300,448	832,589	293,522	5.0% 2.4%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【霧島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

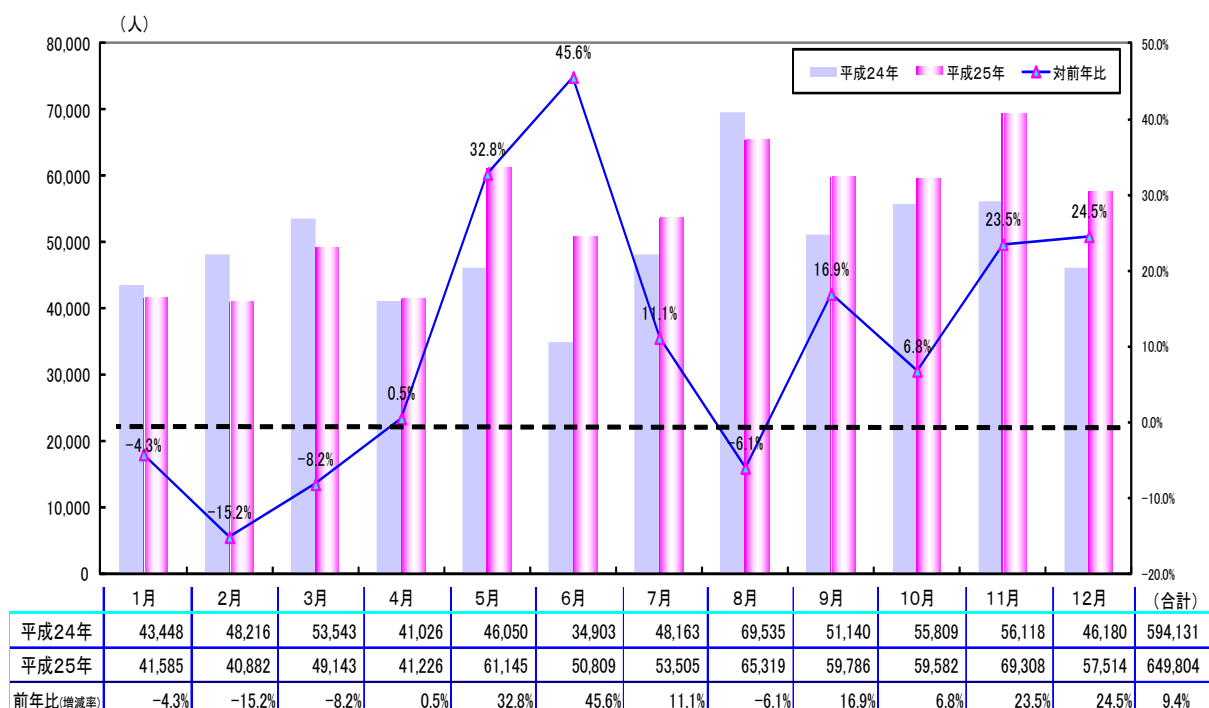
■ 北薩地区の延べ宿泊者数の動向

北薩地区の延べ宿泊者数は、前年比 9.4%の増加となった。
これは、韓国プロ野球チームをはじめとするスポーツ合宿の増加、民泊を利用した教育旅行の増加やビジネス客の増加等が考えられる。

(人)						
北薩地区	平成25年		平成24年		前年比 (増減率)	
延べ宿泊者数	649,804		594,131		9.4%	
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	401,600	237,924	342,217	240,995	17.4%	-1.3%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【北薩地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

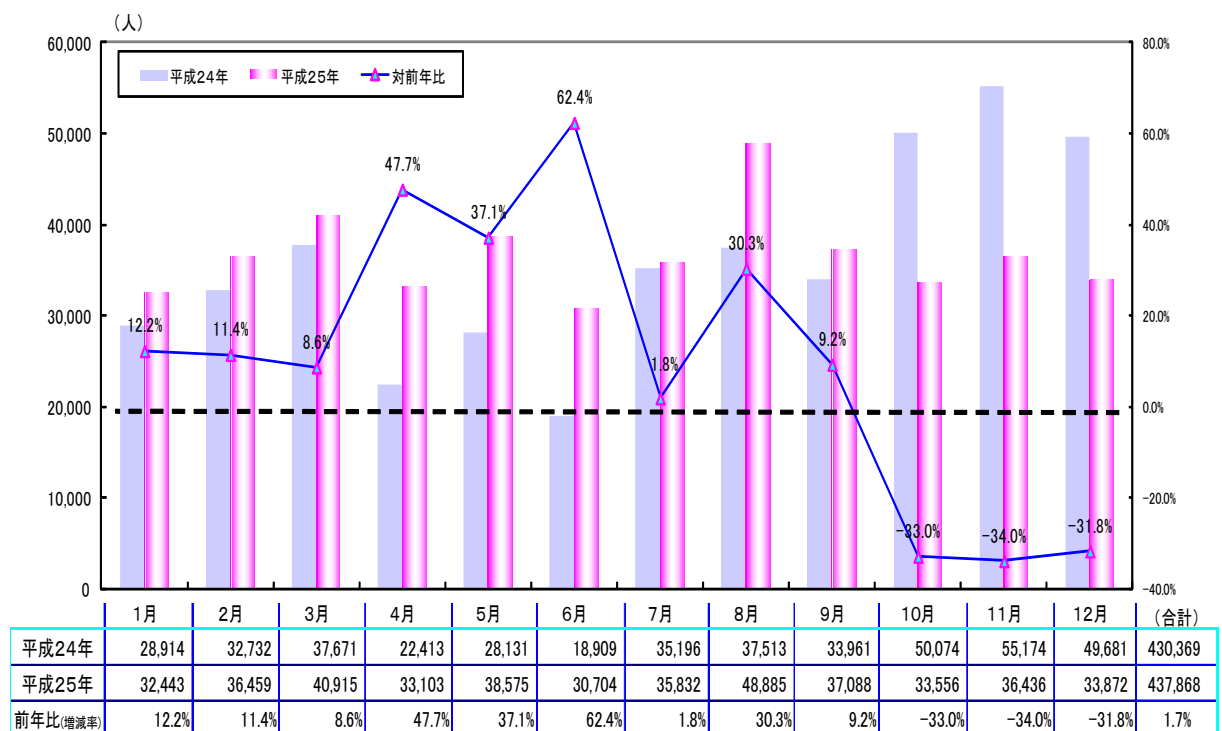
■ 大隅地区の延べ宿泊者数の動向

大隅地区の延べ宿泊者数は、前年比 1.7%増加となった。
これは、ロケット関係のビジネス客や民泊を利用した教育旅行の増加、佐多岬展望公園の無料化などの影響によるものと考えられる。

		(人)													
大隅地区	平成25年	平成24年		前年比（増減率）											
延べ宿泊者数	437,868	430,369		1.7%											
1～12月分	<table><tr><td>県外</td><td>県内</td></tr><tr><td>264,080</td><td>166,861</td></tr></table>	県外	県内	264,080	166,861	<table><tr><td>県外</td><td>県内</td></tr><tr><td>259,437</td><td>163,022</td></tr></table>	県外	県内	259,437	163,022	<table><tr><td>県外</td><td>県内</td></tr><tr><td>1.8%</td><td>2.4%</td></tr></table>	県外	県内	1.8%	2.4%
県外	県内														
264,080	166,861														
県外	県内														
259,437	163,022														
県外	県内														
1.8%	2.4%														

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【大隅地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

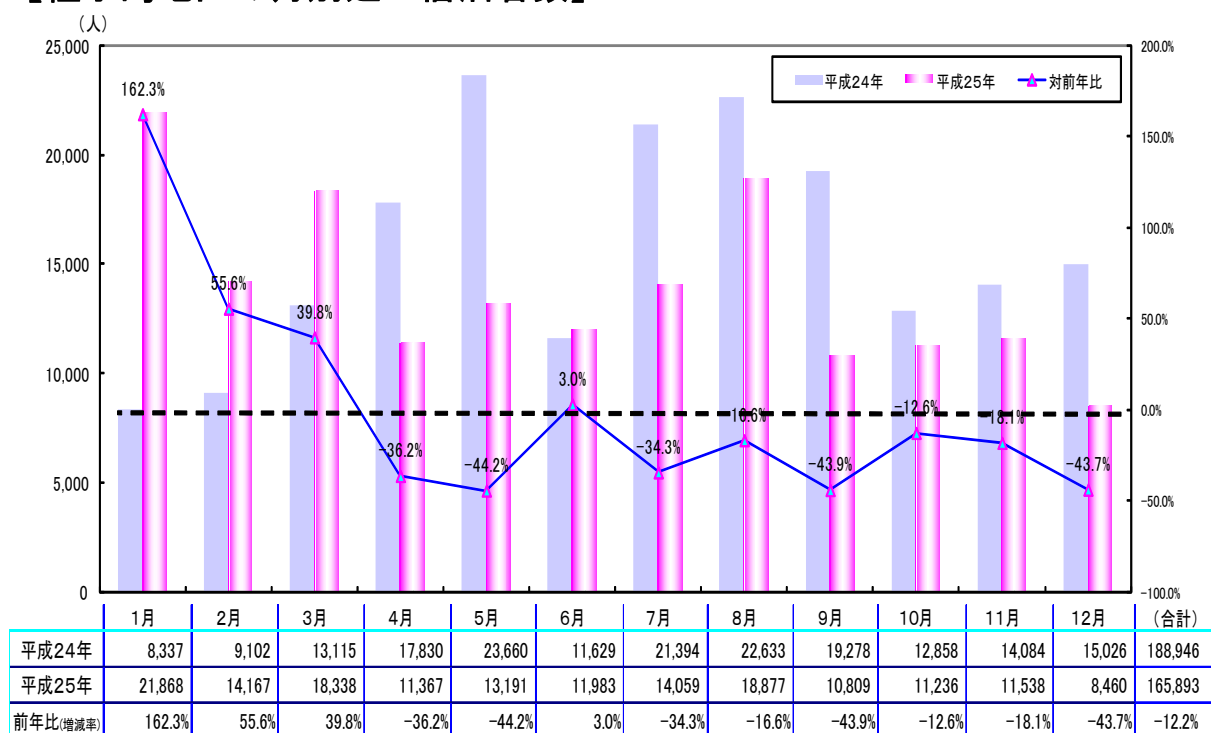
■ 種子島地区の延べ宿泊者数の動向

種子島地区の延べ宿泊者数は前年比 12.2%の減少となった。
これは、教育旅行などの団体客の減少や県内からの宿泊客の減少などによるものと考えられる。

		(人)			
種子島地区	平成25年	平成24年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数	165,893	188,946		-12.2%	
1～12月分	県外 99,042 県内 64,226	県外 91,004 県内 94,469	県外 8.8% 県内 -32.0%		

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【種子島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

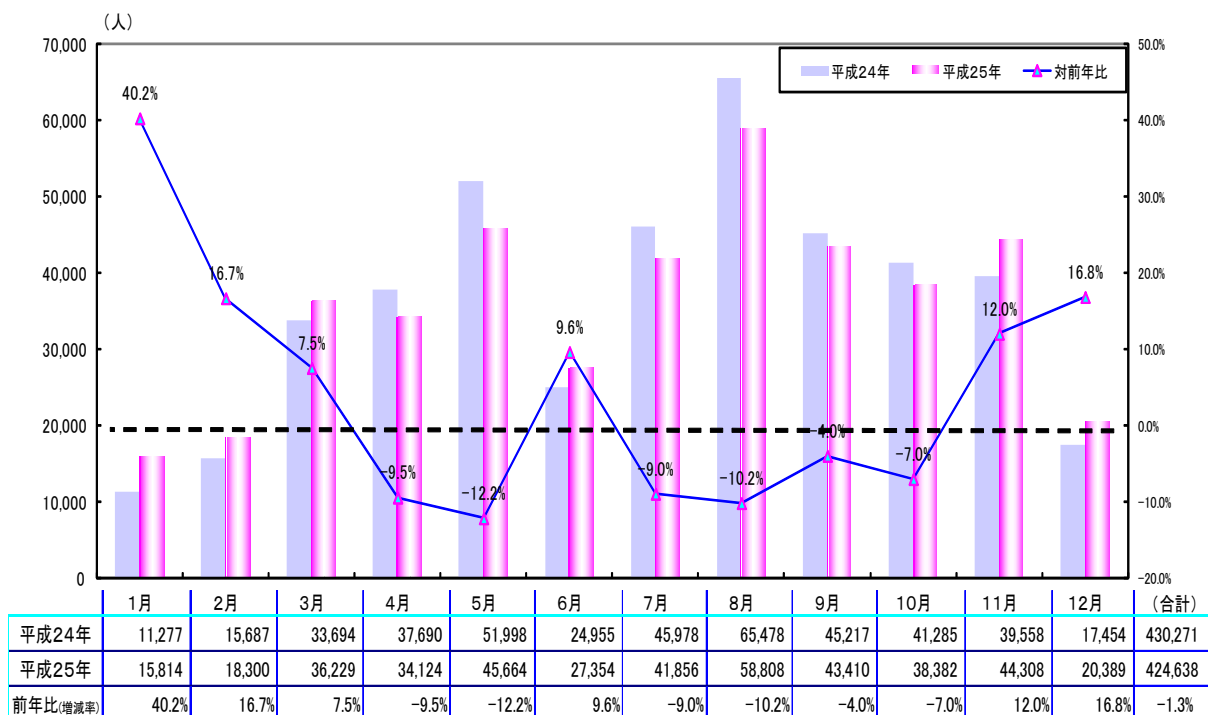
■ 屋久島地区の延べ宿泊者数の動向

屋久島地区の延べ宿泊者数は、前年比 1.3%の減少となった。
これは、教育旅行などの団体客の減少や県内からの宿泊客の減少などによるものと考えられる。

		(人)			
屋久島地区	平成25年	平成24年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数	424,638	430,271		-1.3%	
1～12月分	県外 371,648 県内 46,272	県外 332,128 県内 90,235		県外 11.9% 県内 -48.7%	

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【屋久島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 奄美地区の延べ宿泊者数の動向

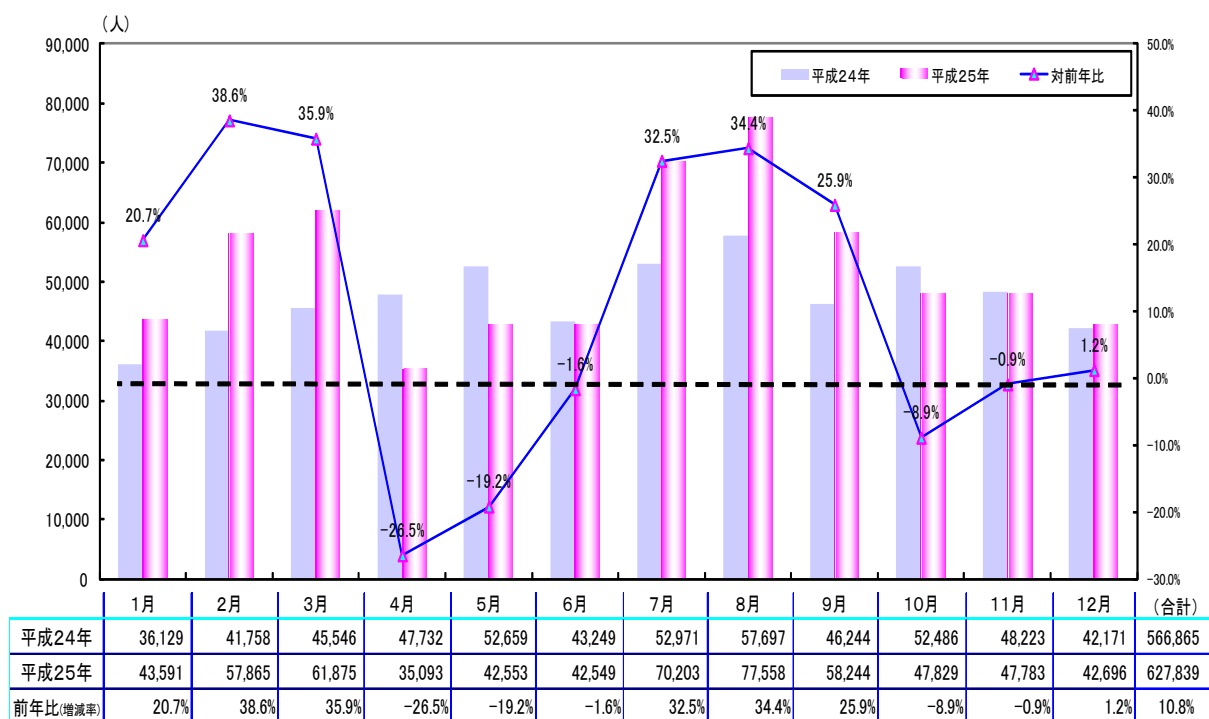
奄美地区の延べ宿泊者数は、前年比 10.8%の増加となった。
これは、県内宿泊客の増加や前年に比べ台風の接近が少なかったことなどが考えられる。

(人)

奄美地区	平成25年		平成24年		前年比（増減率）	
延べ宿泊者数	627,839		566,865		10.8%	
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	321,975	295,932	302,289	254,158	6.5%	16.4%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【奄美地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

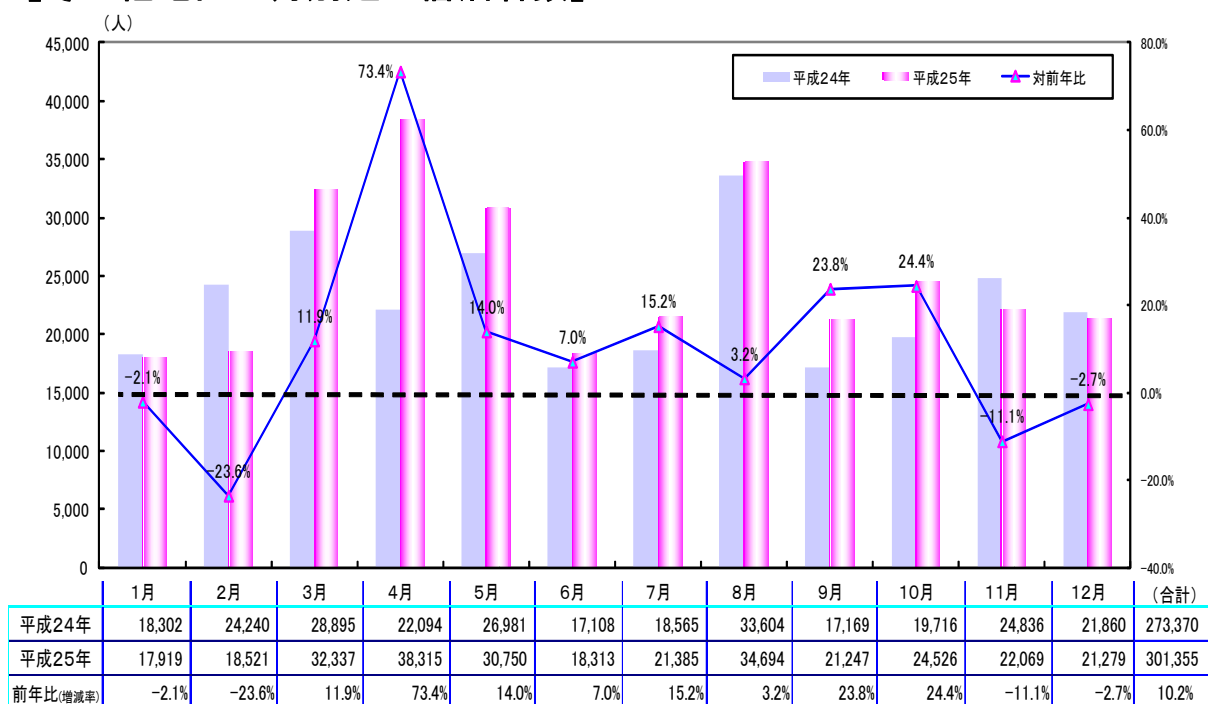
■ その他地区の延べ宿泊者数の動向

その他地区の延べ宿泊者数は、前年比 10.2%の増加となった。

その他地区		平成25年		平成24年		前年比（増減率）	
延べ宿泊者数		301,355		273,370		10.2%	
1～12月分		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		188,038	108,550	160,996	107,350	16.8%	1.1%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【その他地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

(2) 地区別延べ日帰り客数 【出典：観光庁「観光入込客統計」を用いて県で推定】

平成 25 年の延べ日帰り客数は、指宿地区、奄美地区、その地区では前年を上回った。

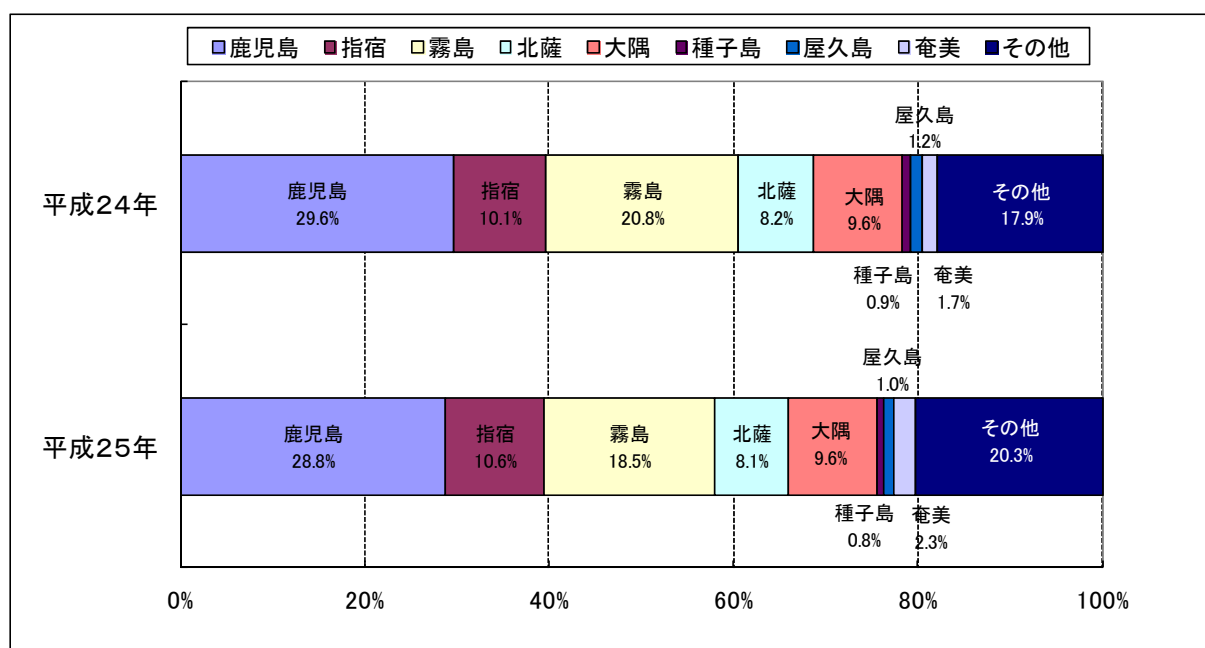
また、地区別構成比は、鹿児島地区が 28.8%と全体の約 3 割を占め、次いでその他が 20.3%となっている。

(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成25年	3,799,757	1,403,915	2,437,835	1,066,058	1,264,542
平成24年	3,955,949	1,344,236	2,780,622	1,090,636	1,275,070
前年比(増減率)	-3.9%	4.4%	-12.3%	-2.3%	-0.8%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成25年	101,015	138,372	294,784	2,676,721	13,183,000
平成24年	122,891	163,067	222,592	2,390,938	13,346,000
前年比(増減率)	-17.8%	-15.1%	32.4%	12.0%	-1.2%

■ 地区別延べ日帰り客数の構成比



4 地区別の動向

(3) 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数

平成25年の地区別延べ宿泊者数と地区別延べ日帰り客数の合算値は、鹿児島地区、指宿地区、北薩地区、奄美地区、その他地区で前年を上回り、前年比1.4%の増加となった。

また、地区別構成比は、鹿児島地区が31.9%と全体の3割を占め、次いで霧島地区が17.3%となっている。

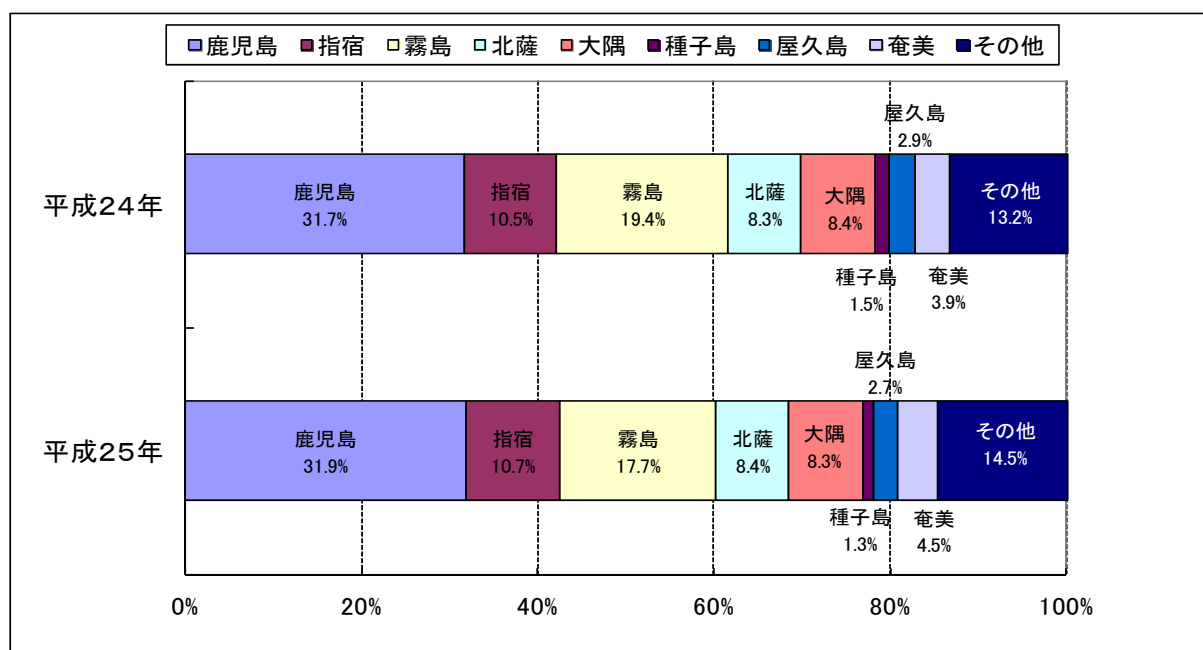
(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成25年	6,541,759	2,183,648	3,631,253	1,715,862	1,702,410
平成24年	6,407,873	2,132,085	3,927,817	1,684,767	1,705,439
前年比(増減率)	2.1%	2.4%	-7.6%	1.8%	-0.2%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成25年	266,908	563,010	922,623	2,978,076	20,505,530
平成24年	311,837	593,338	789,457	2,664,308	20,216,930
前年比(増減率)	-14.4%	-5.1%	16.9%	11.8%	1.4%

※延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある（観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入している）。

■ 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数の構成比



4 地区別の動向

(4) 地区別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

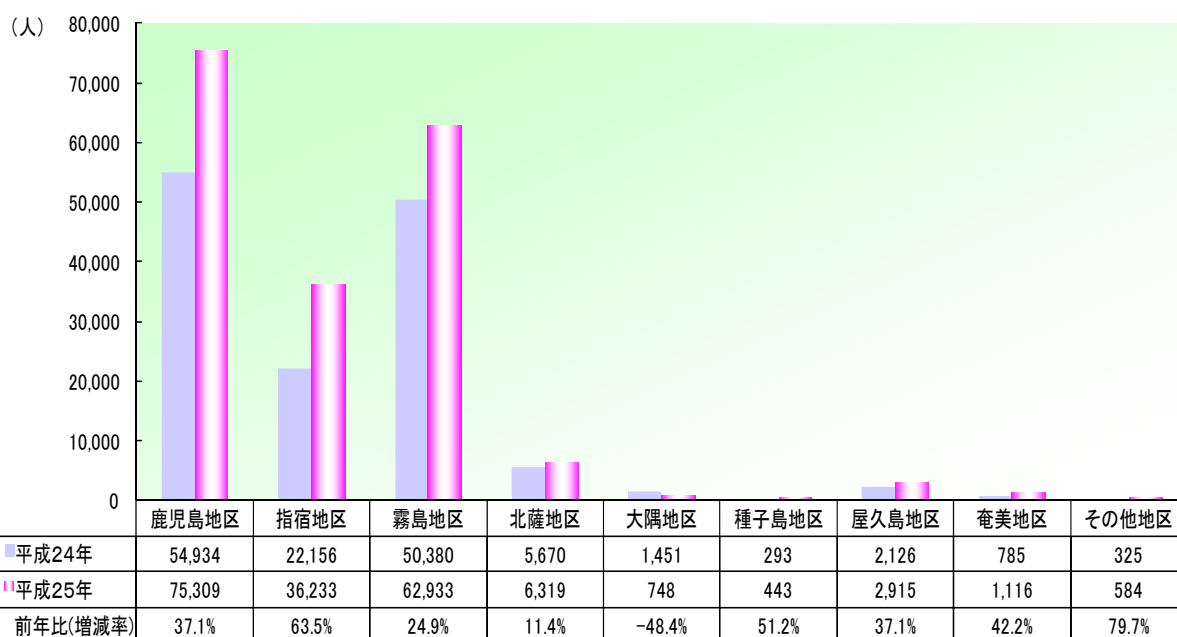
平成25年の地区別外国人延べ宿泊者数は、大隅地区を除いて前年を上回った。

(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成25年	75,309	36,233	62,933	6,319	748
平成24年	54,934	22,156	50,380	5,670	1,451
前年比(増減率)	37.1%	63.5%	24.9%	11.4%	-48.4%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成25年	443	2,915	1,116	584	186,600
平成24年	293	2,126	785	325	138,120
前年比(増減率)	51.2%	37.1%	42.2%	79.7%	35.1%

※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数

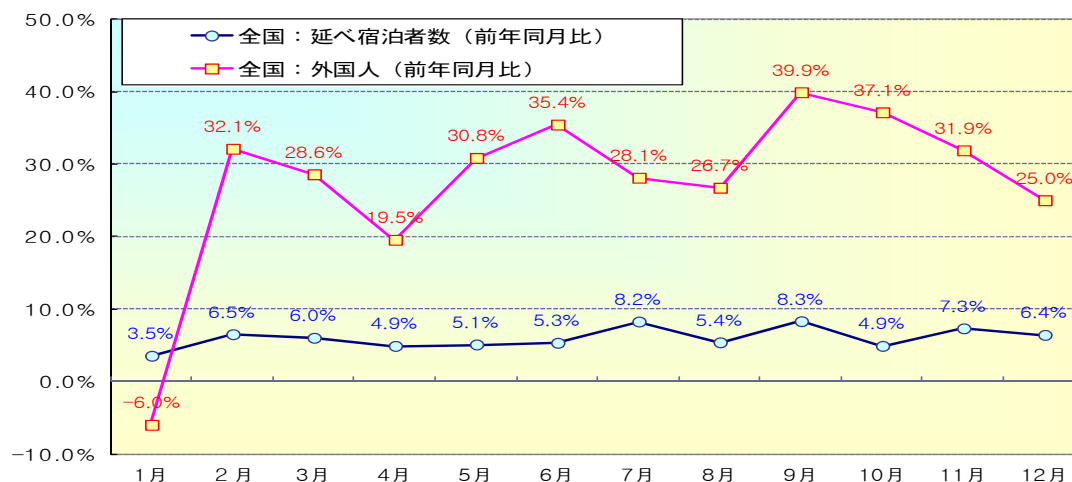


※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数を用いた。

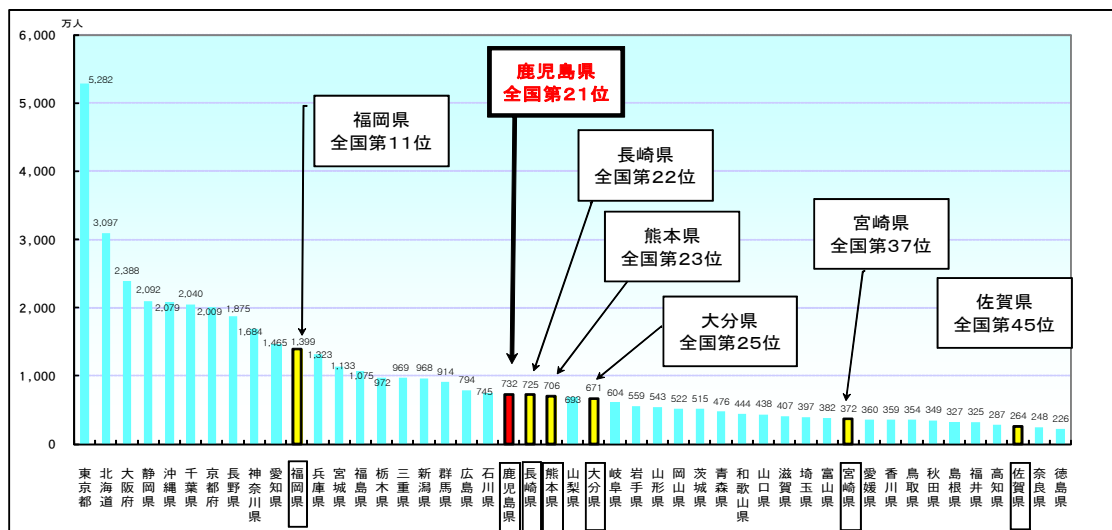
参考資料

1 全国における宿泊者の動向【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

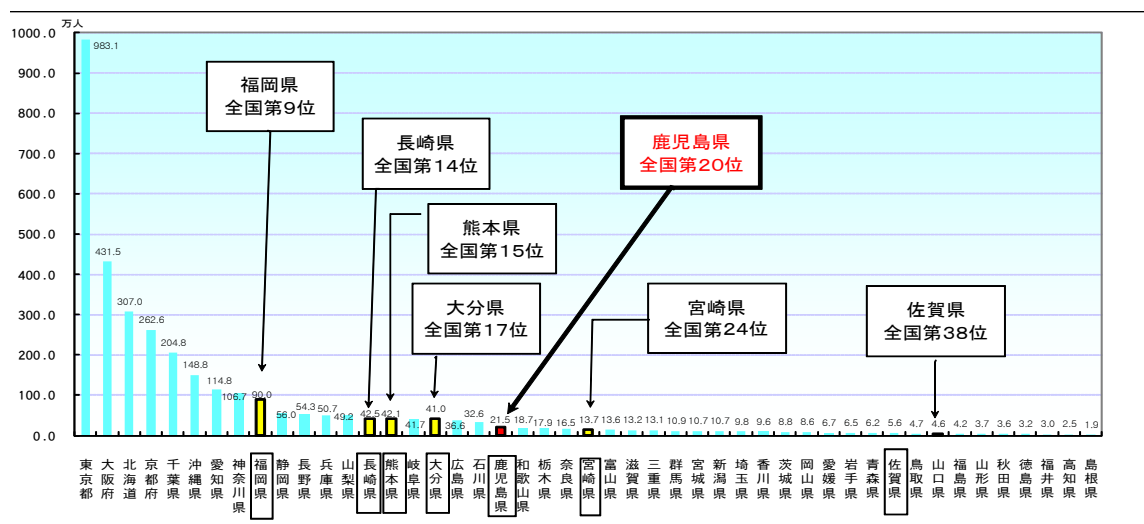
(1) 月別延べ宿泊者数



(2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成 25 年)

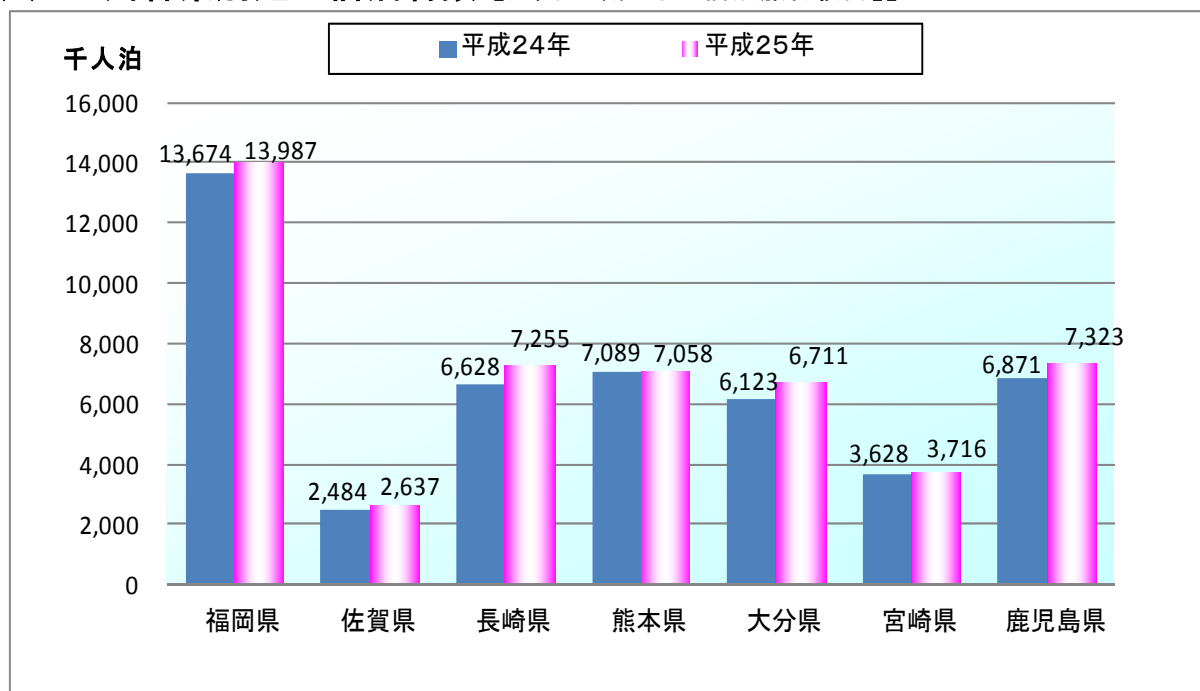


(3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成 25 年)



2 九州における宿泊者の動向

(1) 九州各県別延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】



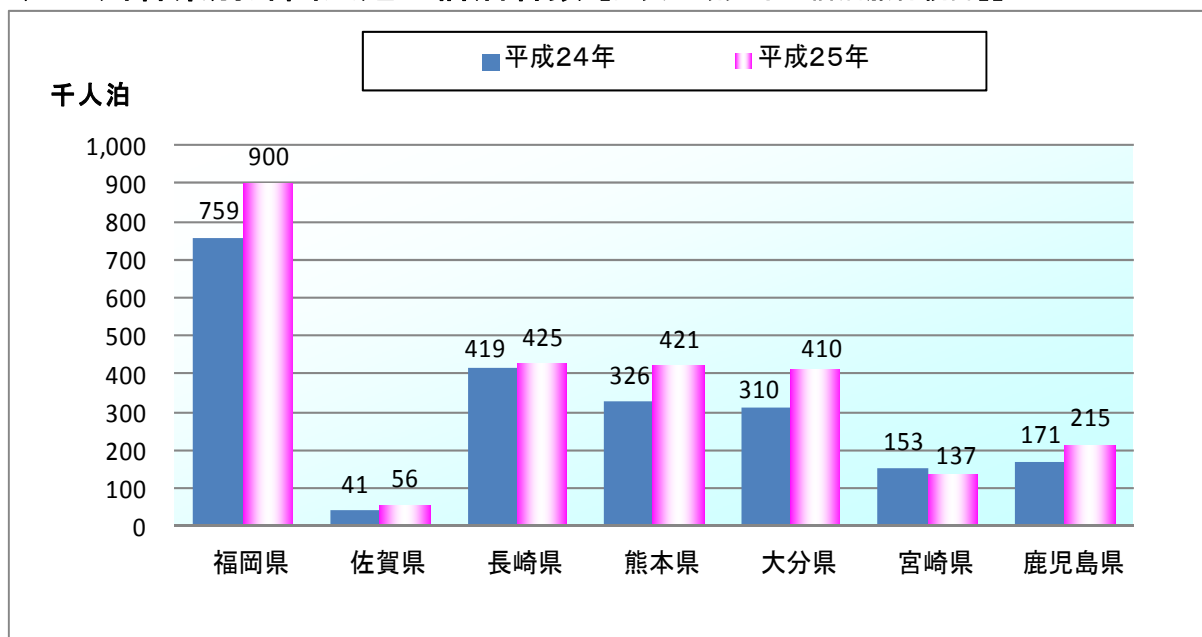
単位：人泊

	平成24年	平成25年	順位		前年比
			全国順位	九州順位	
福岡県	13,674,120	13,986,570	11位	1位	2.3%
佐賀県	2,483,640	2,637,180	45位	7位	6.2%
長崎県	6,628,470	7,254,700	22位	3位	9.4%
熊本県	7,089,180	7,057,610	23位	4位	-0.4%
大分県	6,122,600	6,711,060	25位	5位	9.6%
宮崎県	3,627,650	3,716,050	37位	6位	2.4%
鹿児島県	6,870,930	7,322,530	21位	2位	6.6%
九州計	46,496,600	48,685,680			4.7%
全国	439,495,120	467,207,970			6.3%

※従業員数9人以下の宿泊施設を含む前宿泊施設の年間の宿泊者数

2 九州における宿泊旅行者の動向

(2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】



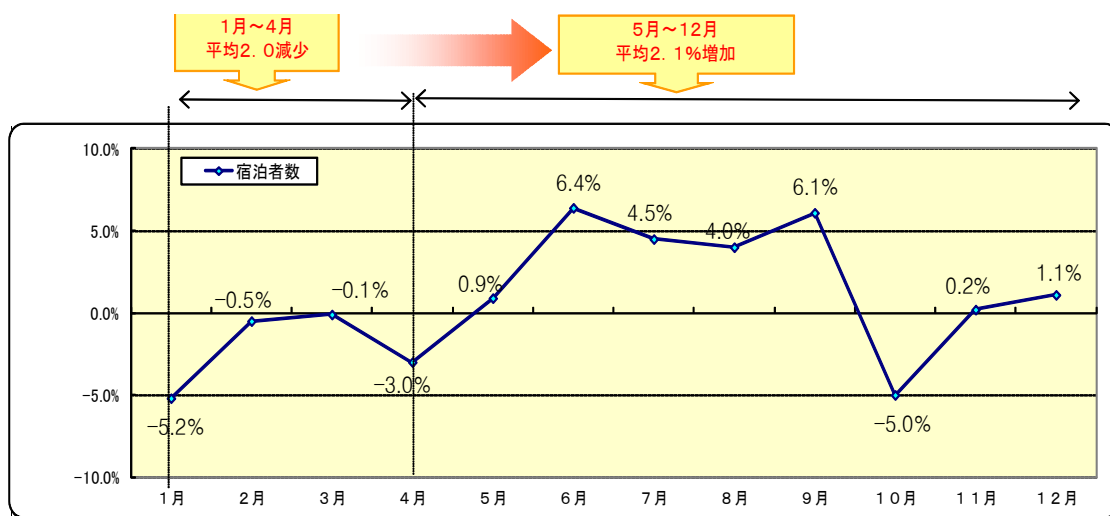
	平成24年	平成25年		前年比
			全国順位 九州順位	
福岡県	758,730	900,040	9位 1位	18.6%
佐賀県	40,960	55,550	38位 7位	35.6%
長崎県	418,820	424,980	14位 2位	1.5%
熊本県	325,910	421,320	15位 3位	29.3%
大分県	310,320	409,640	17位 4位	32.0%
宮崎県	153,230	136,990	24位 6位	-10.6%
鹿児島県	170,570	214,810	20位 5位	25.9%
九州計	2,178,540	2,563,340		17.7%
全国	26,314,340	33,511,380		27.4%

※従業員数9人以下の宿泊施設を含む前宿泊施設の年間の宿泊者数

3 鹿児島県観光動向調査

1月から4月の宿泊者数は、各月とも前年同月を下回って推移し、平均2.0%の減少となった。前年が九州新幹線全線開業効果により宿泊者数が上昇したことの反動などが考えられる。

一方、5月から12月の宿泊者数は前年同月に比べ平均2.1%の増加となった。これは、関東からの宿泊客や台湾からの観光ツアー客が増加したことなどが考えられる。



(合計)

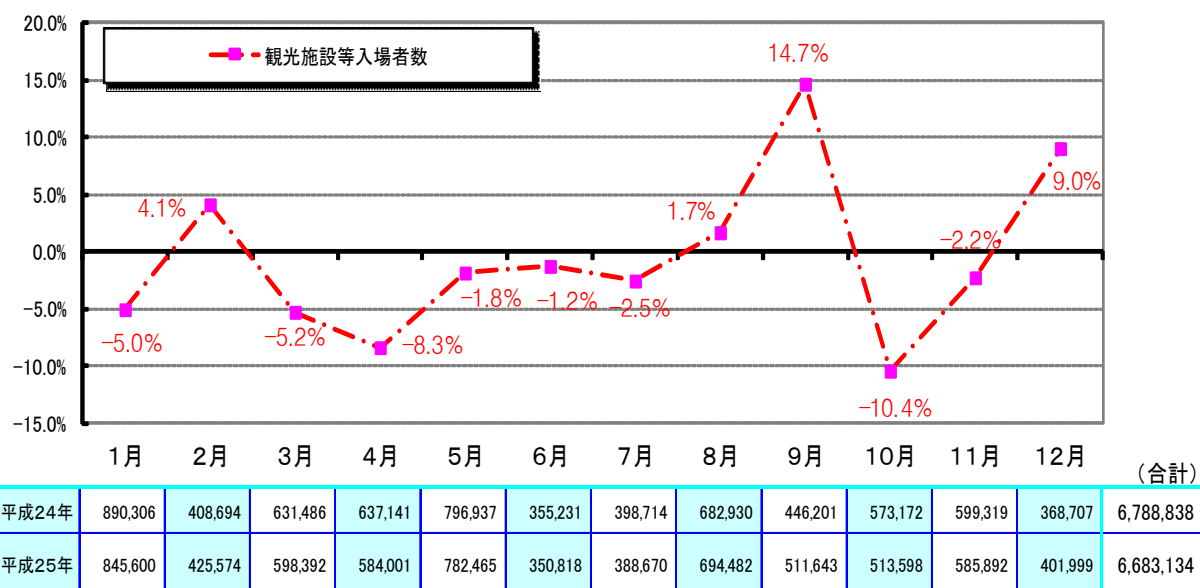
平成24年	232,435	252,305	326,316	278,528	302,959	219,720	250,029	359,287	261,800	298,610	326,613	250,125	3,358,727
平成25年	220,322	251,145	325,910	270,248	305,637	233,743	261,301	373,628	277,723	283,534	327,125	252,977	3,383,293

単位:人

3 鹿児島県観光動向調査

(2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数

県内の主要観光施設・ドライブインの入場者数を前年と比較すると、1.6%の減少となった。



単位: 人

3 鹿児島県観光動向調査

(3) 旅行形態別延べ宿泊客数

宿泊客を形態別にみると、個人客数は前年と比較すると3.3%増加し、団体客数は7.5%の減少となった。

《平成24年》 (単位: 人, %)

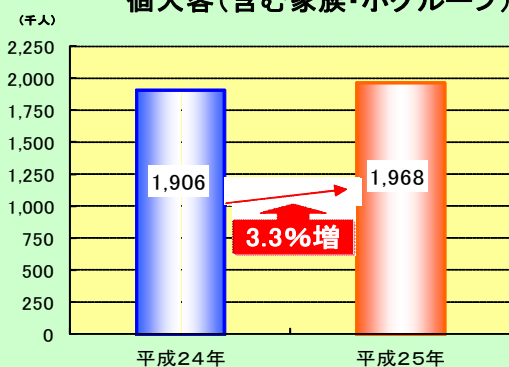
	宿泊客数	構成比
合 計	2,736,409	
個人客(含む家族・小グループ)	1,906,176	(69.7)
団体客(15名以上)	830,233	
一般団体・企画商品	691,042	(25.3)
大 会	58,449	(2.1)
教育旅行	80,742	(3.0)

《平成25年》 (単位: 人, %)

	宿泊客数	構成比
合 計	2,736,776	
個人客(含む家族・小グループ)	1,968,487	(71.9)
団体客(15名以上)	768,289	
一般団体・企画商品	628,608	(23.0)
大 会	55,796	(2.0)
教育旅行	83,885	(3.1)

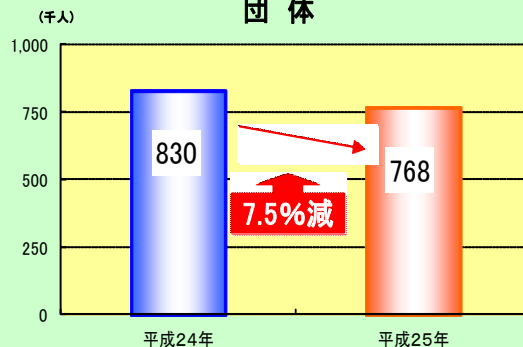
個人

個人客(含む家族・小グループ)



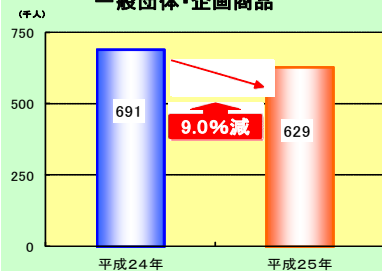
団体

団 体

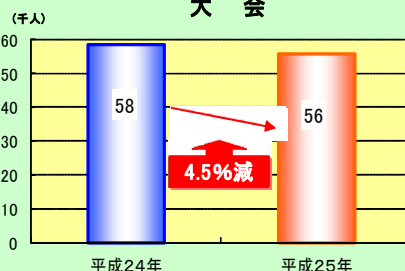


※ 参考「団体」の内訳

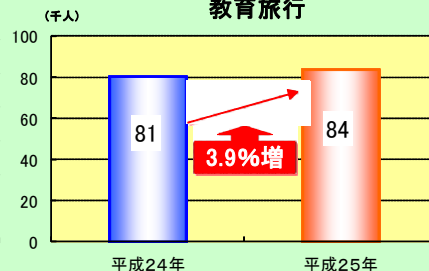
一般団体・企画商品



大 会



教育旅行

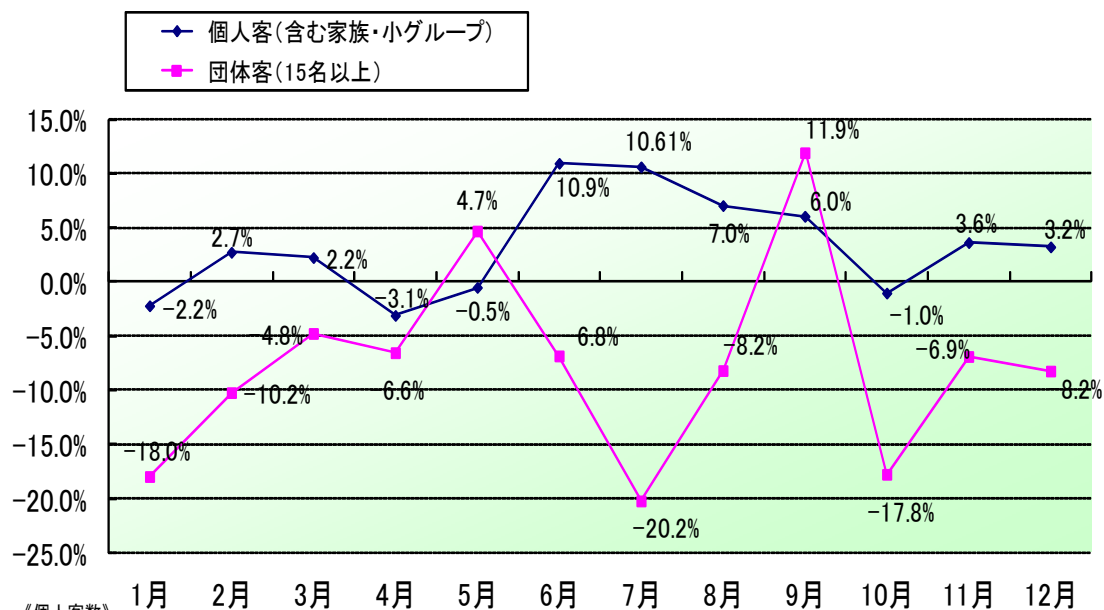


※1 調査対象のうち回答があった施設の集計

※2 平成24年の数値は、平成25年のサンプル施設数とベースを合わせているため、「平成24年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

3 鹿児島県観光動向調査

(4) 月別旅行形態の動向 (対前年同月比)



《個人客数》

(合計)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
平成24年	131,067	119,163	182,101	157,874	176,748	115,143	146,663	239,435	145,708	155,740	177,312	159,222	1,906,176
平成25年	128,161	122,405	186,169	152,966	175,830	127,737	162,226	256,277	154,520	154,117	183,730	164,349	1,968,487

《団体客数》

(合計)

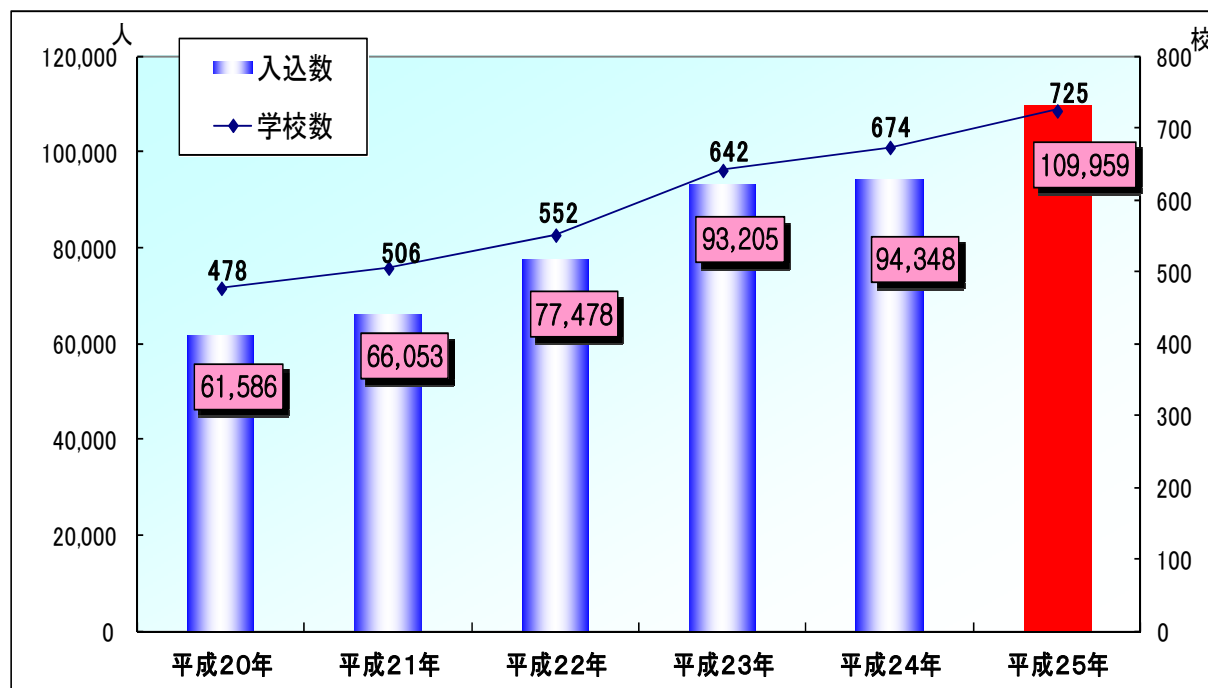
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
平成24年	51,633	68,173	88,321	72,435	75,601	60,405	52,208	55,995	57,433	91,640	99,235	57,154	830,233
平成25年	42,349	61,197	84,112	67,690	79,143	56,273	41,648	51,404	64,276	75,359	92,394	52,444	768,289

単位:人

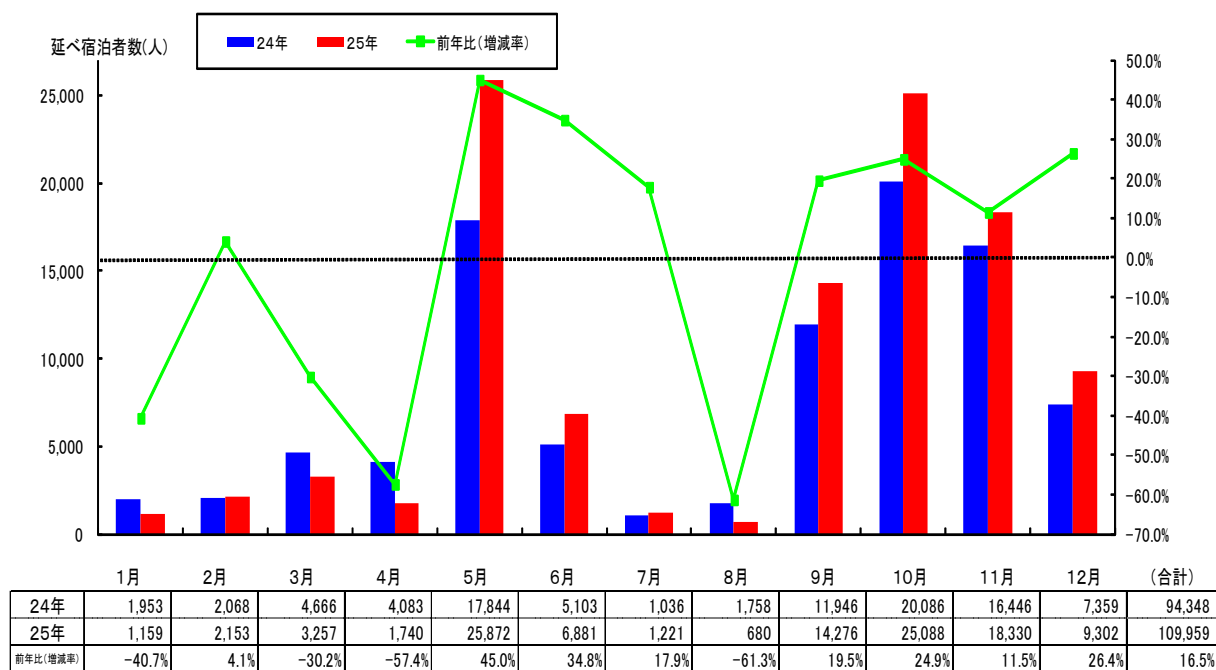
4 教育旅行の受入状況

出典：「平成 25 年鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

(1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況（推移）



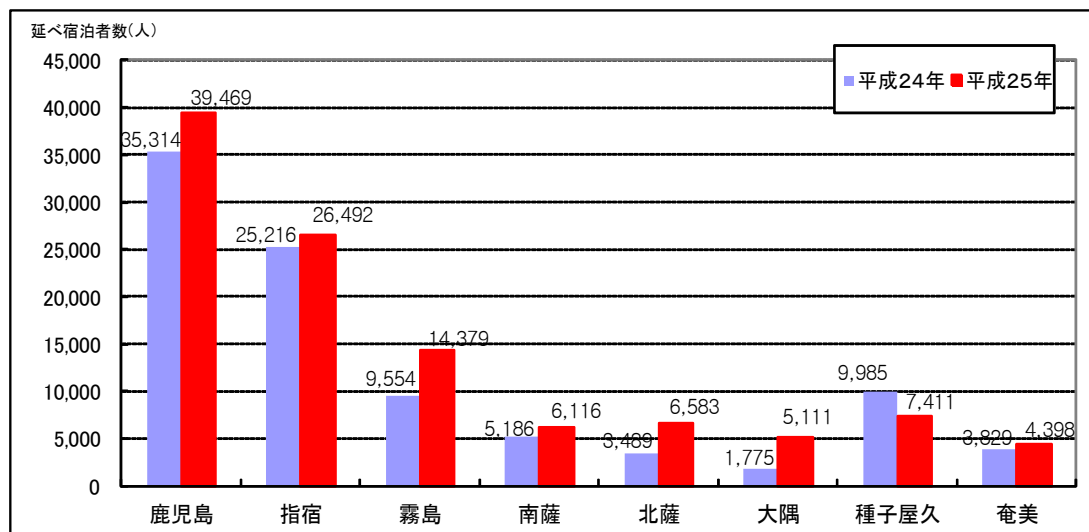
(2) 月別の教育旅行の受入状況（平成24年～25年）



単位：人

4 教育旅行の受入状況

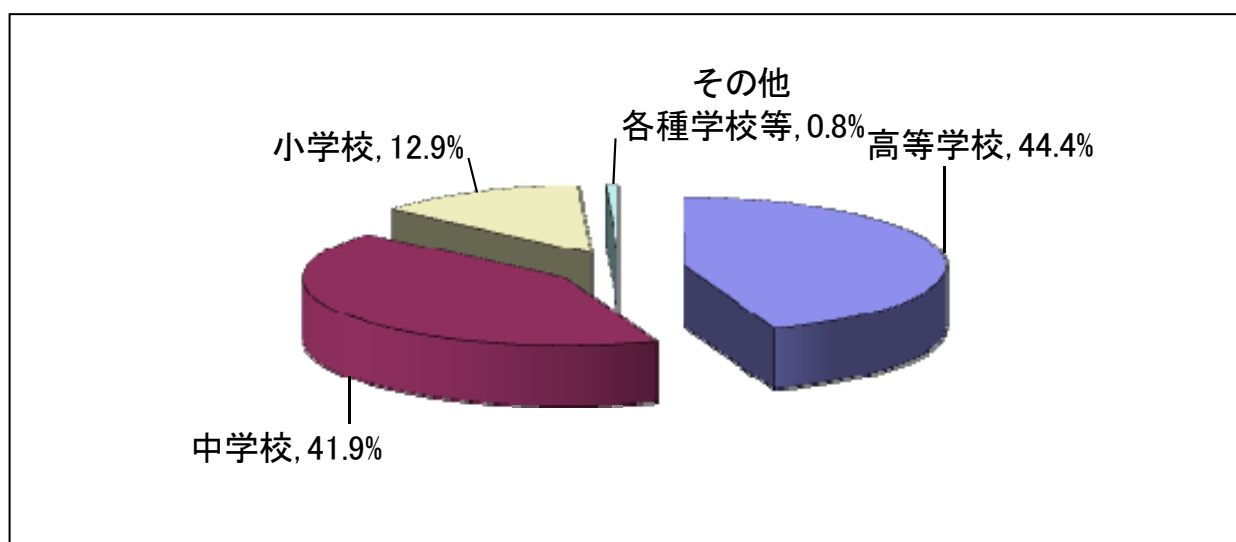
(3) 県内地区別の教育旅行の受入状況（平成24年～25年）



平成24年	35,314	25,216	9,554	5,186	3,489	1,775	9,985	3,829	合計	94,348
平成25年	39,469	26,492	14,379	6,116	6,583	5,111	7,411	4,398		109,959
前年比(増減率)	11.8%	5.1%	50.5%	17.9%	88.7%	187.9%	-25.8%	14.9%		16.5%

単位:人

(4) 学校種別の構成比（平成25年）

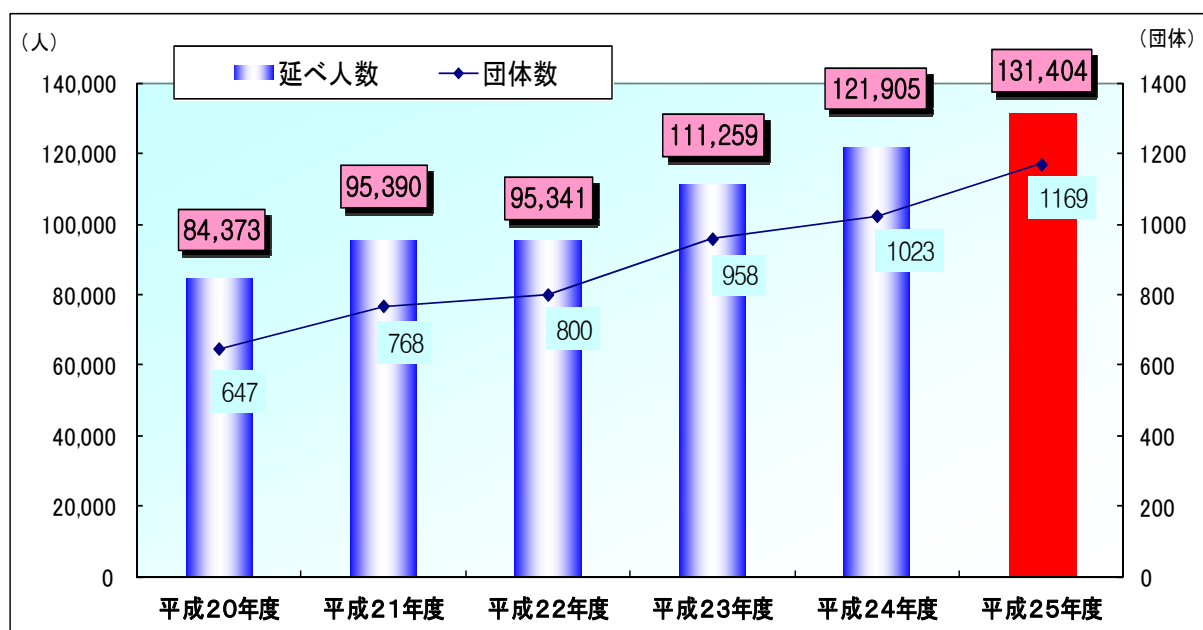


5 スポーツ合宿の受入状況

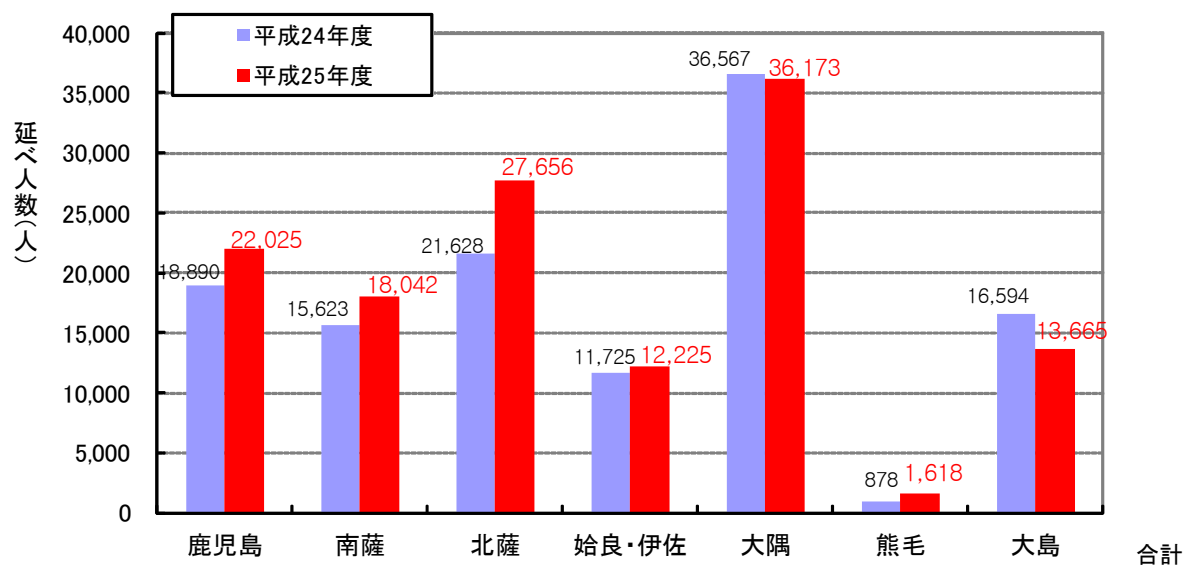
出典：「平成25年度スポーツキャンプ・合宿状況調査」

(1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況（推移）

	平成25年度	平成24年度	対前年度		備 考
			増減数	増減率	
延べ人数(人)	131,404	121,905	9,499	7.8%	過去最高
実人数(人)	28,177	25,659	2,518	9.8%	過去最高
団体数(団体)	1,169	1,023	146	14.3%	過去最高



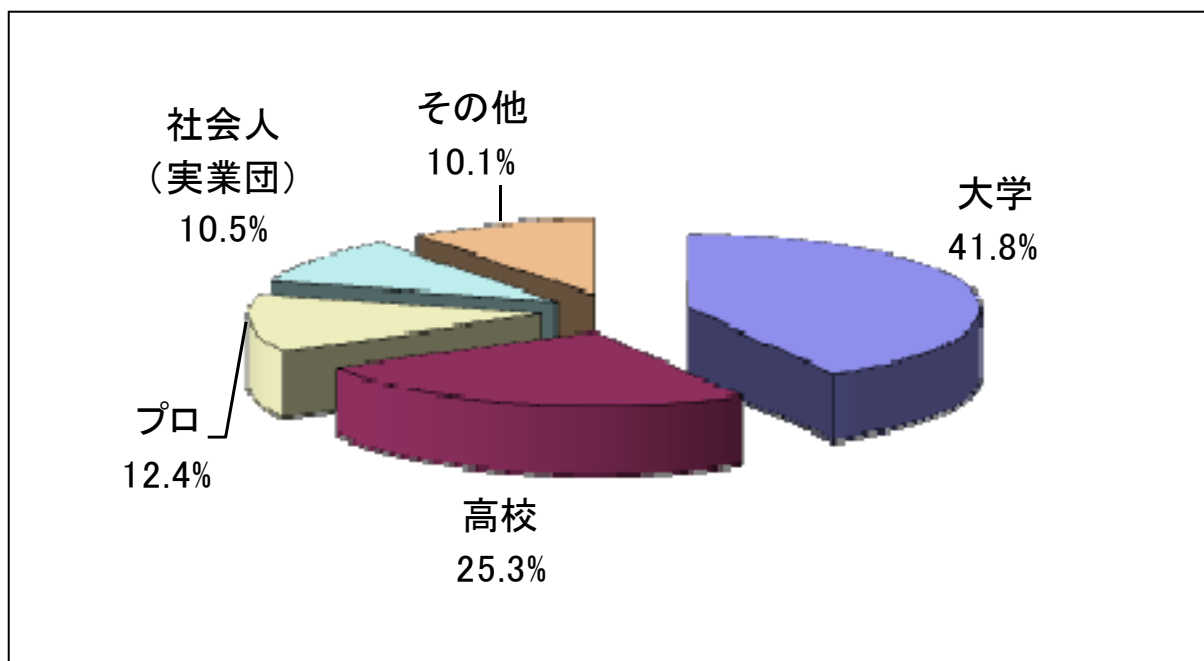
(2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況



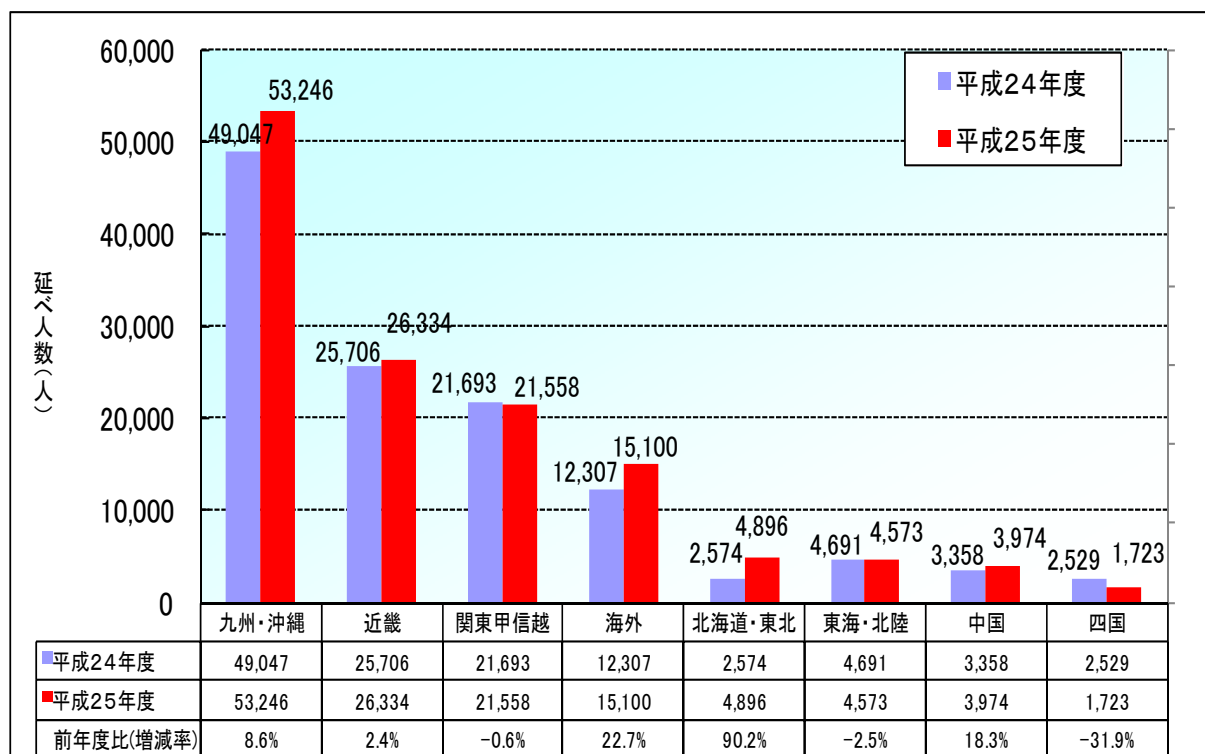
平成24年度	18,890	15,623	21,628	11,725	36,567	878	16,594	121,905
平成25年度	22,025	18,042	27,656	12,225	36,173	1,618	13,665	131,404
前年度比(増減率)	16.6%	15.5%	27.9%	4.3%	-1.1%	84.3%	-17.7%	7.8%

5 スポーツ合宿の受入状況

(3) 団体区分（カテゴリー）の状況

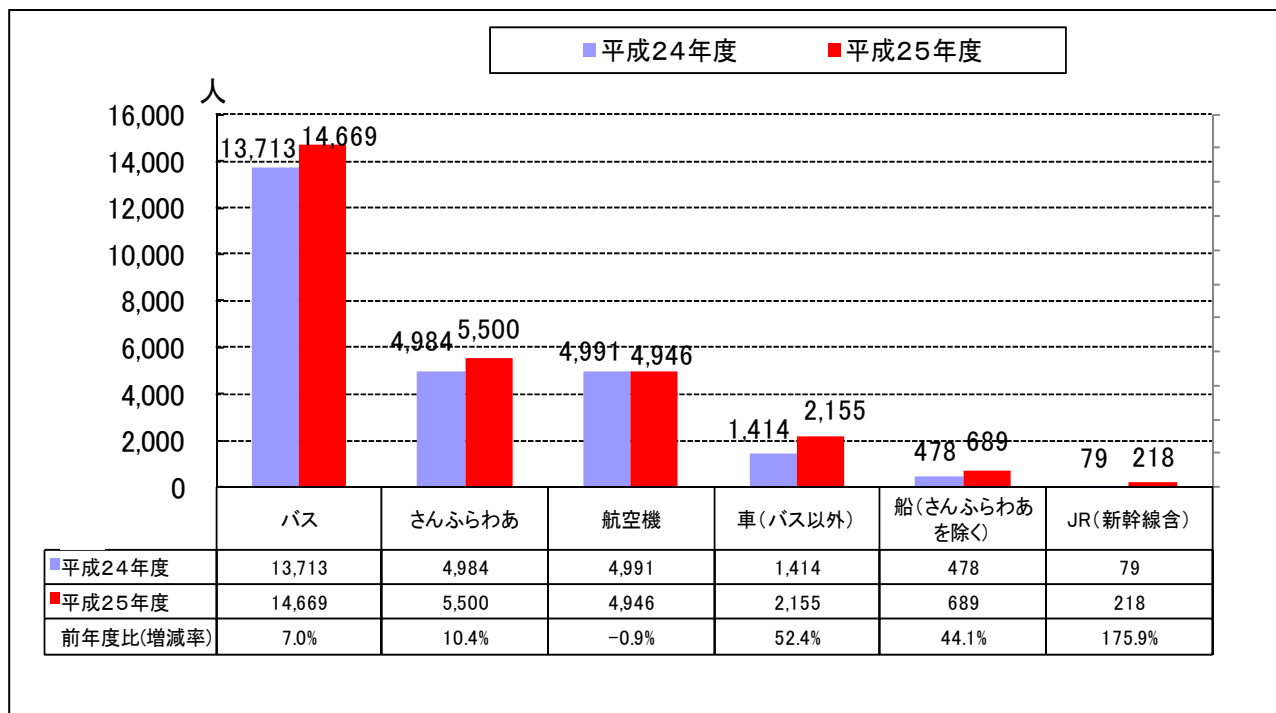


(4) 発地別の状況

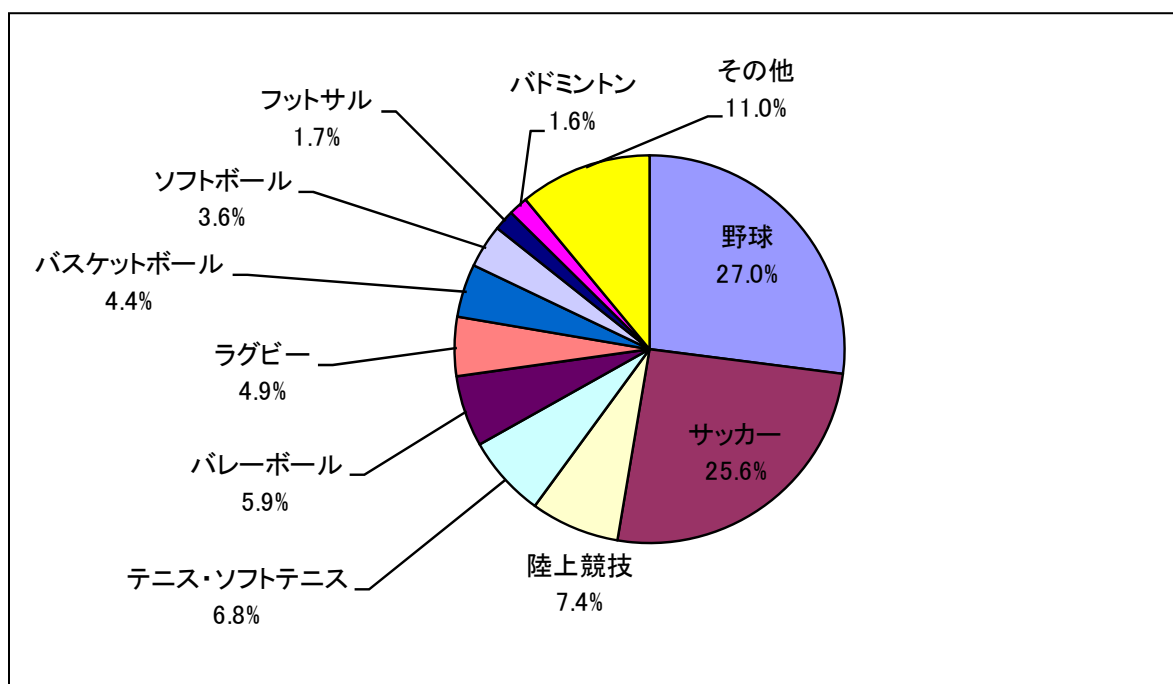


5 スポーツ合宿の受入状況

(5) 交通手段の状況



(6) 競技種目の状況



6 コンベンションの開催状況

【出典：県独自調査】

平成25年の県内のコンベンションの開催状況は、

- ・開催件数 255 件（前年比 15.9%増）
- ・参加者数 329,620 人（前年比 14.3%増） となった。

国際大会については、国際火山学地球内部化学協会学術総会や IWCC 国際女子サッカークラブ選手権大会が開催されたことなどから、対前年比が大幅な増加となった。

	平成25年		平成24年		前年比(増減率)	
	件数	参加者	件数	参加者	件数	参加者
国際大会	8	11,505	3	707	166.7%	1527.3%
全国大会	94	220,813	84	210,564	11.9%	4.9%
その他	153	97,302	133	77,013	15.0%	26.3%
合 計	255	329,620	220	288,284	15.9%	14.3%

※その他は九州規模、九州超規模、西日本規模などの各種大会・会議など

7 国際観光船受入状況

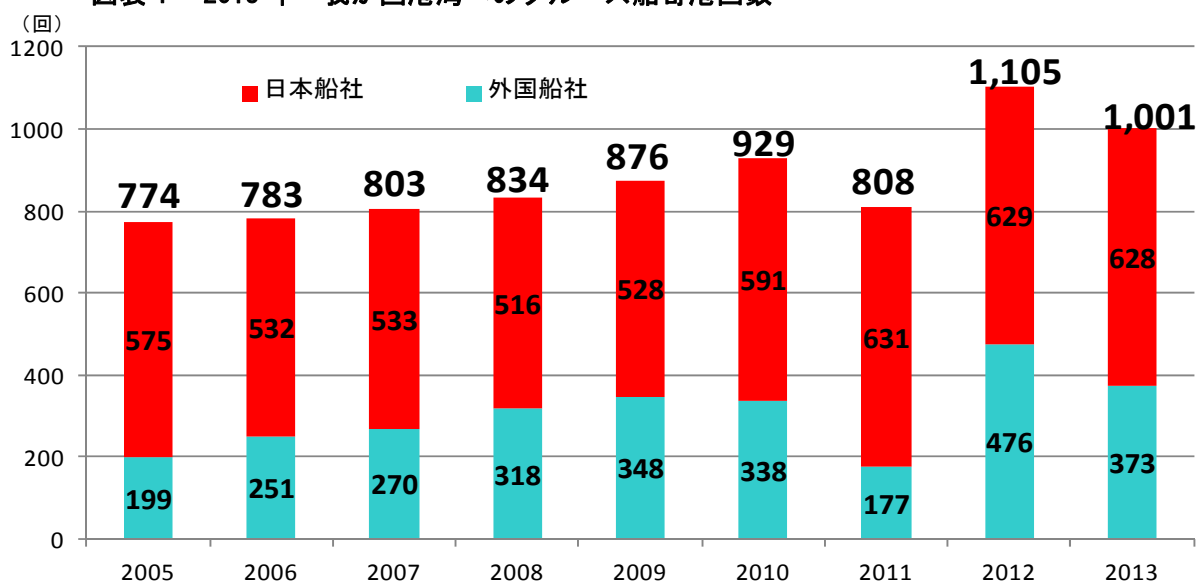
(1) 全国におけるクルーズ船の寄港状況 【出典：国土交通省港湾局】

2013年の我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数は、

- ・外国船社のクルーズ船373回
- ・日本船社のクルーズ船628回

合計1,001回（前年比約10%減）となった。

図表1 2013年 我が国港湾へのクルーズ船寄港回数



図表2 2013年 港湾別のクルーズ船寄港回数（上位10港）

全体			外国船社			国内船社		
順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数
1	横浜	152	1	石垣	59	1	横浜	120
2	神戸	101	2	那覇	41	2	神戸	83
3	石垣	65	3	長崎	35	3	東京	36
4	那覇	56	4	横浜	32	4	名古屋	32
5	東京	42	5	博多	19	5	二見(父島)	29
6	長崎	39	6	神戸	18	6	博多	19
7	博多	38	7	広島	16	7	那覇	15
8	名古屋	35	7	鹿児島	16	8	宮之浦(鹿児島)	14
9	二見(父島)	29	9	大阪	12	9	小樽	11
10	広島	26	9	境	12	9	青森	11

※ 全体で鹿児島は11位(22回)

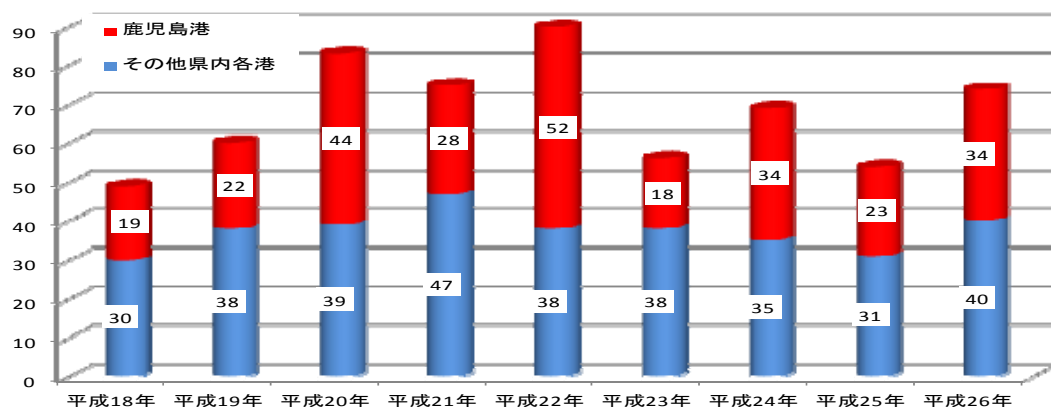
図表3 2008～2013年 外国港湾別のクルーズ船寄港回数（上位5港）

	2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年	
順位	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	那覇	51	那覇	50	博多	61	石垣	42	博多	85	石垣	59
2	石垣	37	長崎	45	那覇	46	那覇	37	長崎	72	那覇	41
3	鹿児島	30	石垣	32	鹿児島	45	博多	26	那覇	47	長崎	35
4	長崎	25	博多	28	石垣	45	長崎	17	石垣	46	横浜	32
5	博多	25	鹿児島	22	長崎	39	横浜	9	鹿児島	27	博多	19
			広島	22								
			神戸	22								

※鹿児島は8位(16回)

7 国際観光船受入状況

(2) 鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況 【出典：県港湾空港課調べ】



	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年 (予定)
県内各港(計)	49	60	83	75	90	56	69	54	74
鹿児島県港	19	22	44	28	52	18	34	23	34
志布志港				1					1
指宿港						1		1	
西之表港			2	4	2	2	1		4
宮之浦港	20	26	22	26	25	23	15	17	17
名瀬港	6	4	5	11	4	4	9	7	13
その他	4	8	10	5	7	8	10	6	5

※H26年9月1日現在

【参考】外国船籍の大型クルーズ船の主な寄港予定

コスタ・アトランチカ
(コスタ・クルーズ社, 本社: イタリア)
全長: 293m, 総トン数: 85, 619トン, 乗客定員: 2, 680人



ダイヤモンド・プリンセス及びサファイヤ・プリンセス
(プリンセス・クルーズ社, 本社: アメリカ)
全長: 290m, 総トン数: 115, 875トン, 乗客定員: 2, 670人



(H26) 5回寄港予定

マリポートかごしま



(H26) 10回寄港予定
(ダイヤモンド・プリンセス,
サファイヤ・プリンセス 各5回)

本物。 鹿児島県

平成 25 年 鹿児島県の観光の動向
～鹿児島県観光統計～

発行 平成 26 年 10 月

編集・発行 鹿児島県観光交流局観光課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号

TEL 099-286-3008

FAX 099-286-5580

E-mail k-kokunai@pref.kagoshima.lg.jp

[http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/
kanko-tokusan/kanko/kankotokei/](http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/kanko-tokusan/kanko/kankotokei/)

観光かごしま

検索

